

湯布院温泉郷

(由布院温泉、湯平温泉、塚原温泉、庄内温泉、挾間温泉)

国民保養温泉地計画書



令和元年 10 月 4 日

大分県由布市

目次

第1章 湯布院温泉郷の概要	1
1－1. 湯布院温泉郷について	1
1－2. 各温泉の概要	3
第2章 計画の基本方針	11
2－1. 計画の基本理念	11
2－2. 計画の基本方針	12
第3章 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化の維持・保全に関する方策	13
第4章 温泉利用の医学的な方策	18
4－1. 温泉の医学的立場からの利用法、健康管理法に関する指導者配置の現状	18
4－2. 温泉の医学的立場からの利用法、健康管理法に関する指導者の育成方針	19
第5章 温泉資源の保護に関する方策	20
5－1. 温泉資源の状況	20
5－2. 温泉資源保護に関する取組の現状	30
5－3. 温泉資源保護に関する今後の方策	32
第6章 温泉の衛生的保護に関する方策	33
6－1. 温泉利用にあたっての関係設備等の状況	33
6－2. 温泉の衛生面確保に関する取組の現状	33
6－3. 温泉の衛生面確保に関する今後の方策	33
第7章 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策	34
7－1. 温泉の公共的利用の状況	34
7－2. 温泉の公共的利用増進に関する取組の現状	35
7－3. 温泉の公共的利用増進に関する今後の方策	39
第8章 高齢者・障がい者に配慮したまちづくりに関する方策	40
8－1. 公共の用に供する施設の状況	40
8－2. 高齢者・障がい者に配慮したまちづくりに関する取組の現状	44
8－3. 高齢者・障がい者に配慮したまちづくりに関する今後の方策	44
第9章 災害防止に係る計画及び措置	45
9－1. 温泉地の地勢及び災害の発生状況	45
9－2. 災害防止に関する取組の現状	45
9－3. 災害防止に関する今後の方策	49

第Ⅰ章 湯布院温泉郷の概要

Ⅰ－Ⅰ．湯布院温泉郷について

本計画書では、大分県由布市の「由布院温泉」「湯平温泉」「塚原温泉」「庄内温泉」「挾間温泉」の5か所の各温泉地について「湯布院温泉郷」として記載する。

由布市は、2005（平成17）年10月に挾間町、庄内町、湯布院町が合併し誕生した。湯布院地域にある由布院温泉、湯平温泉は、1959（昭和34）年5月5日に国民保養温泉地に指定されている。また「湯布院温泉」として、1981（昭和56）年度に国民保健温泉地¹に指定された。

2011（平成23）年3月に「由布市観光基本計画」を策定し、「滞在型・循環型保養温泉地」をさらに推し進めるため、10カ年の計画により取り組みを進めている。滞在型・循環型の保養温泉地として、新たな“由布市観光”（由布ブランド）を確立するため、由布院温泉をはじめとした各地域の魅力を高め合い、交通インフラの整備や田園風景をはじめとする自然環境・農業の保護、保全といった地場産業の連携に力を入れている。

由布院温泉、湯平温泉ともに旅館を中心とした住んで良し、訪れて良しの生活型観光のほか、由布市全体の取組として、平成23（2011）年から由布市グリーンツーリズム研究会が立ち上がり、教育旅行・個人旅行を対象とした農村民泊の受け入れを開始した。これにより、教育旅行や観光客の新たな受け入れとともに、これまで宿泊地のなかった地域において、地域外からの交流と滞在が可能になっている。



写真Ⅰ 農泊農家と一緒に郷土料理づくり

¹ 温泉法1948（昭和23）年に基づき、「温泉の公共的利用増進のため、温泉利用施設の整備及び環境の改善に必要な地域」として環境大臣が指定した「国民保養温泉地」のうち、特に、医師の協力を得て温泉の保健的利用を促進することが期待できる条件を備えた温泉地。1981（昭和56）年に創設され1995（平成7）年まで続いた制度で21カ所の温泉地が整備されている。

湯布院地域

由布市の代表的な温泉地である。湯布院地域内に、「由布院温泉」「湯平温泉」「塚原温泉」²という3つの温泉地があり、それぞれが特徴的な泉質や歴史を有する。

1959（昭和34）年に国民保養温泉地の認定を受け、リゾート開発の波や、1975（昭和50）年の大分中部地震などに見舞われたが、民間主導の温泉地づくりやクアオルトへの取組などにより、温泉地としてのブランドを築き上げた地域である。



写真 2 由布岳

庄内地域

庄内地域は豊かな自然と農村風景や庄内神楽等の文化的資源を有する地域である。南部の黒岳山麓の自然豊かな地域には名水百選に選ばれた男池（湧水量2万トン／日）のほか、多数の冷鉱泉や全国的にも珍しい天然炭酸水³がある。庄内温泉の多くは、国道210号に沿って分布しており、観光客・地域の住民が温泉施設を利用している。



写真 3 男池

挾間地域

大分市と別府市に隣接した挾間地域は、豊かな自然環境に恵まれ、商業施設、大分大学医学部附属病院の医療機関も充実している。挾間温泉は、大分市、別府市からのアクセスの良さから、民間開発での立ち寄り湯が中心で、地元住民だけでなく近隣市からの利用客が多い。家族湯が充実した施設も多くパーソナルな空間を楽しめる温泉地として人気である。



写真 4 挾間の商業地

² 温泉地の分類は『おおいた温泉白書』20ページ「大分県の温泉地」を参考。

³ 水メディア「天然炭酸水を日本（国産）で採取できる場所や地域と歴史」<https://atz-l.com/?p=2761>

1-2. 各温泉の概要

(1) 由布院温泉

湯布院温泉郷の中心的存在として、位置付けられる温泉である。北に豊後富士と呼ばれる由布岳（標高 1,584m）があり、その山麓に広がる由布院盆地内一帯を由布院温泉とする。JR 久大本線由布院駅は、由布院温泉の玄関口であり、そこから由布岳のふもとの金鱗湖までのエリアが観光の中心地として形成されている。平成 30 年春には、JR 久大本線由布院駅横の「由布市ツーリストインフォメーションセンター」がオープンし、九州全体のプラットフォームや情報発信の拠点施設として整備された。



写真 5 初夏の由布岳

● 歴史

由布院温泉は 1955（昭和 30）年代後半から全国に先駆けて地域主導でまちづくりを推進してきた。1959（昭和 34）年に国民保養温泉地に認定される前の時代には、現在のような観光地は形成されておらず、当時は奥別府という通称があったように、にぎやかな別府温泉とは対称に由布岳山麓の田園地帯にぽつりぽつりとたたずむ温泉宿であった。



写真 6 中部地震による被害

当時、山向こうの別府温泉は既に歴史ある温泉地として栄え、1955（昭和 30）年代～1965（昭和 40）年代にかけて多くの施設建設が行われていた。一方、由布院温泉においては、温泉地として発展する上で別府との差別化を図ることが重要だとして、1959（昭和 34）年に国民保養温泉地の認定を受けた。これは九州においては 2 番目の取組であった。この認定によって、由布院温泉が目指す方向性がより明確になる。その後、若手の旅館経営者が中心となり様々なきっかけを捉えて由布院への観光客誘致のための取組を行った。「国民保養温泉地として由布院温泉のあるべき姿を見つめ続けた結果」、自然との共生や農村風景との調和を目指す「湯布院 100 年のまちづくり」を掲げるなど、当時の施設建設中心の観光地開発とは正反対の方針をとり、由布院ならではのまちづくりが実現するきっかけとなる。



写真 7 復興のシンボル 辻馬車

その後、1975（昭和 50）年の大分県中部地震の復興をきっかけに、現在の由布院の風物詩となる「辻馬車」「湯布院映画祭」「牛喰い絶叫大会」など、人と人とが交流するイベントが多数生まれ、これらの取組が全国各地の人々とのつながりを生み出し、今も脈々と受け継がれている。

現代でこそ、年間 386 万人⁴の観光客が訪れる全国屈指の一大観光地となったが、そのまちづくりの方向性は、過去のリゾート開発の波に逆らって、“自然と調和した温泉地”を目指していくという部分は大きく変化していない。また、国民保養温泉地である由布院温泉のまちづくりには、ドイツのクアオルト療法（気候性地形療法）の考え方を導入し、現在も市民が中心となって取り組んでいる。



写真 8 現在の由布院温泉地

● 温泉

由布院温泉は、国内源泉数第 2 位⁵、国内湧出量第 2 位⁶の温泉地である。盆地を形づくる山々に降る雨が地下に浸透し、くじゅう火山や由布・鶴見火山などから発せられる地熱に醸成されて熱水になり湧出する、典型的な火山性温泉である。温泉の性状は、主に無色透明、高温の単純温泉である。⁷



写真 9 露天風呂から望む由布岳

⁴ 出典：2017（平成 29）年由布市観光動態調査

⁵ 出典：2009（平成 21）年（一財）日本温泉協会「温泉」828 号

⁶ 出典：2014（平成 26）年（一財）日本温泉協会「温泉」859 号

⁷ 由布市おもてなし伝承師の会「ゆふ温泉帖」パンフレット

(2) 湯平温泉

● 歴史

湯平温泉は、由布市湯布院町湯平にある温泉街である。湯平温泉の開祖は、およそ 800 年前の鎌倉時代と言われており、現在のような温泉街の骨格が出来上がったのが江戸後期。湯平温泉の中央を流れる花合野川に沿って作られた坂道の石畳は、今から約 300 年前に作られたもので、現在もその趣を残している。江戸時代に書かれた「豊後国志」にも記録が残っており、当時から有名な温泉地だったことが分かる。



写真 10 江戸時代に作られた石畳

江戸時代、温泉湯治に訪れる客の多くは経済的な余裕のある富裕層や士分などの限られた人達であったが、明治時代になり時代背景が変化していくと共に様々な制約が解かれ、大衆が利用できる湯治場として発展した。その当時は医薬品なども普及しておらず、湯治が最高の療養方法とされていたこともあり、江戸時代初期から胃腸病に効くことが有名だった湯平温泉はさらに多くの湯治客が訪れる温泉地となっていった。それ以来、湯治場としての発展を続けてきた湯平温泉は、大正から昭和初期にかけて、さらに大きな温泉地として全国的に有名になっていく一時代を築き上げる。

明治期までは坂道に沿って茅葺きの湯治場が並んでいたが、1912（明治 45）年 4 月 20 月に起こった大火により、旅館や民家のほぼ全戸を焼失した。しかし、著名な温泉地としての需要があったため、火災直後から共同浴場や旅館、商店、発電所などの再建が行われ、火災から約 2～3 年程で以前よりも活気のある温泉街を取り戻した経緯がある。

昭和になり、全国でも珍しい共同浴場の無料開放が行われ、多くの人が温泉を楽しむことができた。戦前に療養型温泉として有名になってからは、別府温泉に次ぐ九州で第 2 位の入湯客を誇る温泉地として西の横綱に番付されたのもこの頃であった。当時、大分～湯平間を走る大湯線湯平駅前には多くのフォードのタクシーが列を連ね、その繁栄ぶりを見ることができた。さらに、木造四階建ての旅館が建ったのもこの頃で、今でもその建物が一部残っている。

昭和 5 年には俳人・種田山頭火が湯平温泉を訪れ宿泊した際に、「しぐるるや 人のなさに 涙ぐむ」などのいくつかの名句を残しており、現在も石畳通りの入り口と、湯平



写真 11 種田山頭火展

温泉街を見下ろす高台にある菊畑公園（観光案内所から徒歩で約 20 分）には、「種田山頭火句碑」が置かれ、この地を訪れる観光客の方々を見守っている。

● 温泉

湯平温泉の泉質は、塩化物泉が中心で、胃腸病・神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・慢性消化器病・慢性便秘・ストレス解消などに良いとされる。江戸時代初期から既に、胃腸病に効くとして多くの湯治客が利用した。現在は、旅館が 21 軒、食堂や商店等が 7 軒、共同温泉が 5 軒営業している。⁸旅館の温泉は宿泊客のみに提供されているものが多い。



写真 12 共同温泉「中の湯」

(3) 塚原温泉

● 歴史

塚原温泉がある塚原高原は標高 600m、由布岳の北側に位置している。4 世紀からの伝統ある集落であり、県内でも酪農業が盛んな地である。現在も塚原高原の丘陵地は牧草地として営まれ、由布岳と草原が織りなす雄大な眺望は、訪れる人々を癒す。2011（平成 23）年には「日本で最も美しい村」⁹連合に塚原地区として加盟した。集落を中心とした一帯には、立ち寄り湯、カフェ、ギャラリー、工房などが木々や草原の中を縫うように点在し、訪れる観光客に自然と調和した、ゆったりとした時間を提供している。



写真 13 塚原高原の草原



写真 14 「日本で最も美しい村」連合

⁸ 湯平温泉観光協会より。

⁹ 2018（平成 30）年 2 月更新認定

● 温泉

代表的な温泉は、鶴見岳山塊の西端に位置する伽藍岳の中腹にある「塚原温泉 火口乃泉」である。活火山である伽藍岳 120℃以上の高温蒸気の噴気孔や熱泥を噴き上げる泥火山などがあり、現在も活発な火山活動を続けている。ここに湧出する温泉は、強酸性の泉質であり、その酸性度、鉄イオン、アルミニウムイオンの多さでは、全国的にも類をみない。非常に強い酸性のため、皮膚に対する効能が高いとされている。¹⁰



写真 13 塚原温泉火口之泉

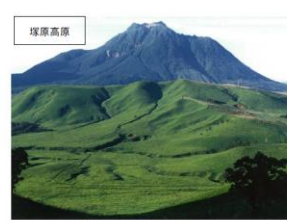
塚原高原における宿泊施設は、離れ、コテージ、貸別荘といったプライベート空間を重視した形式が中心で、広大な土地と自然を最大限に活かした贅沢な時間を過ごすことができるよう趣向の凝らしたものが多い。由布市観光のなかでもリゾート的な温泉地となっている。

● 交通

塚原高原の南を横断するように大分自動車道が走っており、2016（平成 28）年 11 月に由布岳パーキングエリア（上下線）にスマートインターチェンジが設置され、塚原高原へのアクセスが大幅に短縮された。

● 塚原地区の観光振興

塚原地区における高速道路へのアクセス性が向上することで、広域的な交流が活発化し、観光客の増加が期待されます。



由布岳スマートIC 付近に広がる塚原高原は、爽快感あふれる空気と解放的空間で満たされています。

資料 1 期待される整備効果

（出典：NEXCO 西日本）

◎日本温泉地域資産に選定

日本温泉地域学会が、2004（平成 16）年に選定した「日本温泉地域資産」に、由布市から次の 4 つが選定された。

- ① 由布院温泉…金鱗湖と「下ん湯」共同浴場
- ② 湯平温泉…伝統的の石畳街
- ③ 湯平温泉…伝統的飲泉文化
- ④ 塚原温泉…泉源地帯

※「日本温泉地域資産」（2010（平成 22）年 5 月発行）より

¹⁰ 由布市おもてなし伝承師の会「ゆふ温泉帖」パンフレット

(4) 庄内温泉

● 地域

庄内温泉は、由布市の中央、大分川の中流に位置する地域にあり、東西に約 20 キロメートルの広がりがある。庄内地域の南西部は「阿蘇くじゅう国立公園」に含まれる黒岳（標高 1,587m）の裾野の山地となっており、中央部は大分川が流れる標高が最も低いエリアとなり、大分川の縁部は河岸段丘が形成されている。そこから東北部は、標高が約 1,000m 程度の城ヶ岳や雨乞岳が大分川と並行に横たわり、その背後に鶴見岳を望むことができる。黒岳のふもとには名水百選に選ばれた男池があり、周囲には天然の炭酸水が湧出しているなど豊かな水資源を誇る地域である。



写真 14 紅葉の黒岳



写真 15 市指定無形民俗文化財登録の
庄内神楽

地域文化として、伝統芸能の庄内神楽が市民によって受け継がれており、現在も 11 の神楽座のほか、子供神楽座や保育園、高校でも取り組まれ、年齢を問わず継承されつづけている文化である。また、庄内神楽定期公演として、毎月 1 回、庄内町総合運動公園神楽殿を中心に公演を行っており、由布高校郷土芸能部も定期的に公演を行うなど、親しまれている。

● 温泉

庄内温泉は、黒岳山麓に湧出する白水鉱泉と阿蘇野鉱泉が古くから人々に利用されていた。浴用と利用の温泉開発は、1968 年に小野屋が初めて、1977 年をピークに掘削した過去がある。国道 210 号に沿って分布する温泉の泉質は、単純温泉と硫酸化塩泉で弱アルカリ性のものが中心である。また、ほぼ掘削と動力によって湧出する温泉で、掘削の深度が 500m 前後であれば泉質は単純温泉が多く、600～800m の掘削で硫酸化塩泉が湧出される傾向にある。さらに、庄内温泉は、地層中に貯っていた古い水が、周囲の地温によって温められた水であり、湯の色は、泉質



写真 16 ほのぼの温泉館

に限らず無色透明の温泉もあるが、国道沿いの温泉一帯は茶褐色や黄褐色のものが多く傾向にある。

庄内地域の南部の阿蘇野地区は、阿蘇・くじゅう国立公園の一部、くじゅう連山の黒岳山麓の自然豊かな山岳地帯となっており、黒岳の登山口周辺には黒岳原生林が広がっている。その黒岳の麓にある男池は、阿蘇野川の源流にあたり、黒岳が長い時間をかけてろ過した水が湧き出している湧水群である。環境省の名水百選に選ばれた男池（湧水量2万トン／日）のほかに、遊離二酸化炭素を豊富に含む全国的にも珍しい天然炭酸水の冷鉱泉（¹¹単純冷鉱泉）が各地で湧出する。

● 交通

国道210号を中心に、県道30号庄内久住線や県道52号別府庄内線が主要道路である。鉄道は、久大本線の沿線として、庄内駅、天神山駅、小野屋駅があり、市民の交通の一役を担っている。

（5）挟間温泉

● 地域

挟間温泉は、北は別府市、東と南は大分市に隣接する地域にある。大分市との境に大分大学医学部附属病院が立地していることや市内、市外の商業施設にもアクセスが良いことから、近年は集合住宅が増加し、大分都市圏のなかでも落ち着いた住環境と利便性の高い生活環境が整っている。そのような地理的条件から大分市のベッドタウンとも呼ばれる挟間地域は、人口減少が叫ばれる近年でも、由布市の人口を維持している重要な地域となっている。また、挟間温泉地にある温泉施設が「はさま温泉郷議会」として組織され、新たな癒しの空間の提供など、様々な取組が始まっている。



写真 17 挟間地域

● 温泉

国道210号沿いの温泉施設のほか、別府市に続く北部の丘陵に沿って温泉が点在している。特徴は、非常に高濃度の溶存成分を含む温泉が多いことである。溶存物質量の合計が温泉水1kg中に約32gという多さで、ほぼ海水に近い数値を示している。ナトリウムや塩素が多く、硫酸基の少ない水は、油田水や古い地質時代に地下に閉じ込められた海水であり、挟間温泉はもともと海水であったものが長い間閉じ込められて化学反応を起こし、現在の温泉になったものと思われる。また、挟間町では、昭和50年頃から温泉の開発が盛んになり、あちこちで温泉が掘られた。大分川流域で最初に温泉を掘り当てたのが

¹¹ 由布市おもてなし伝承師の会「ゆふ温泉帖」パンフレットより

挾間町赤野の海老毛温泉である。これまで掘られた温泉の深度は、浅いもので 200m、深いもので 450m であり、かなり浅いところに温泉の貯留層があると考えられている。¹² 泉質は、アルカリ性単純泉が中心で、湧出温度は 400m 以上深く掘ればほとんど 40℃ を超える。

● 交通

近隣の大分市や別府市からのアクセスが良く、国道 210 号を中心に、バスや鉄道など公共交通機関の便数も多く、交通の便が良い地域。久大本線の沿線として、向之原駅と鬼瀬駅の 2 駅ある。

¹² 由布市おもてなし伝承師の会「ゆふ温泉帖」パンフレットより

第2章 計画の基本方針

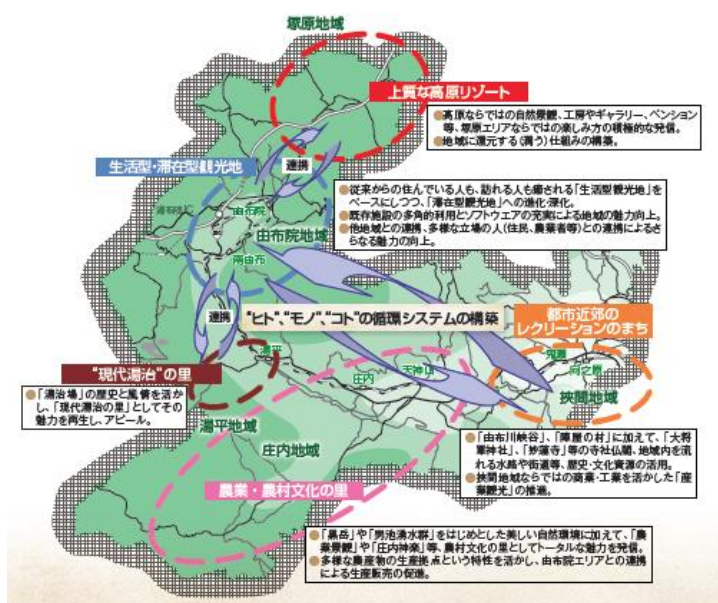
2-1. 計画の基本理念

滞在型・循環型保養温泉地の実現

近年、湯布院温泉郷における観光は、由布院温泉を核として発展してきた。年間 386 万人が訪れる由布院は、賑わい溢れる観光地としてだけでなく、豊富な湯量と趣向をこらした各温泉旅館や立ち寄り湯、雄大な由布岳の眺望、田園風景が、多くの由布院を愛する人々を増やしてきた。

市町村合併をして 12 年、由布市には由布院温泉のほかに、古くから湯治場としての歴史を持つ湯平温泉、高原リゾート地である塚原温泉、天然の炭酸水が湧きだす冷鉱泉が豊富で農業や神楽を継承する庄内温泉、大分市近郊で商業施設が集積し住みよく上質な温泉がある挾間温泉など、市内全域に特徴のある温泉群が点在している。

そのような由布市における保養温泉地の基本理念は、地域内外の“ヒト”をはじめとした“モノ”、“コト”との交流や連携によるまちづくりを基本とし、第 1 次、第 2 次、第 3 次産業を有機的に連携させ由布市に新しい価値をもたらす“総合産業”であるとして、“住んで良し、訪れて良し”の「滞在型・循環型保養温泉地」をさらに継承する。



2-2. 計画の基本方針

湯布院温泉郷では、以下を基本方針とし温泉資源の保全に取り組みながらも、多くの観光客や地域住民が温泉の恵みを享受し、質の高い滞在型保養温泉地づくりを目指す。

(1) 観光基盤の整備

- ①受け入れ環境整備
- ②各地域の情報発信拠点としてのプラットフォームづくり

(2) 情報発信

- ①正確な観光基礎数値に基づく科学的なデータ分析による戦略的な情報発信の確立
- ②観光戦略と観光施策の情報共有と一元化した情報発信組織の確立
- ③観光客動線と商店街活性化とを結びつけた情報発信の検討

(3) 人材育成

- ①訪日外国人、国内旅行者対応等の人材育成方針の策定及び研修
- ②市民との協働による、人づくり・組織づくりの検討、育成
- ③温泉資源を活用した観光と健康づくりを担う人材の育成

(4) 温泉資源の適切な管理と把握

- ①大分県環境審議会温泉部会での保護地域の指定による温泉資源の保護・管理を県と連携して行う。
- ②湯布院温泉郷の泉源のデータ化や情報管理

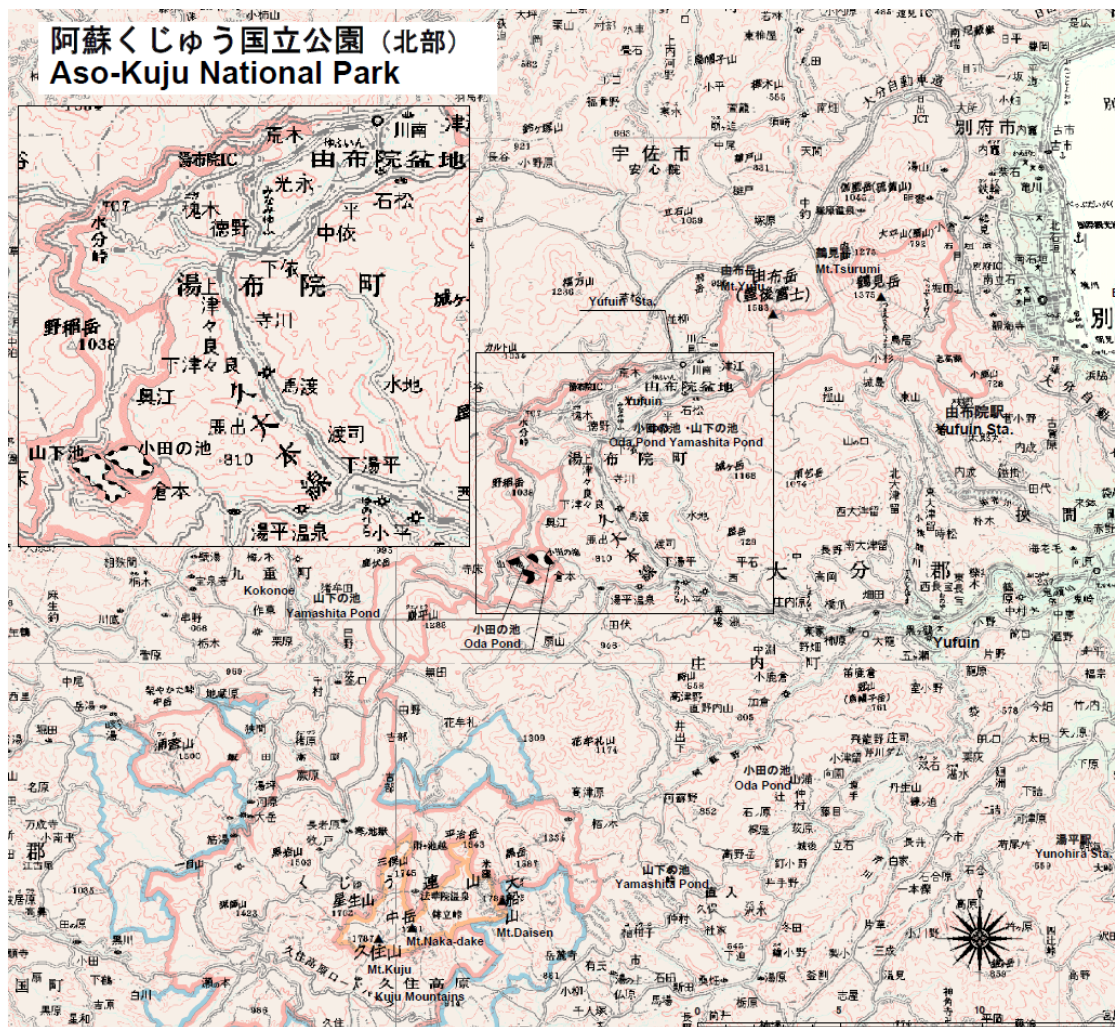
第3章 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化の維持・保全に関する方策

(1) 自然環境の保護・保全に関する取組

①阿蘇くじゅう国立公園の指定

阿蘇くじゅう国立公園は、1934（昭和 9）年に指定された。大分県と熊本県にまたがる国立公園で、大きな特長は、大カルデラにそびえる阿蘇山やその北に連なるくじゅう連山などの火山群、そして、その周囲に広がる雄大でなだらかな草原である。¹³

阿蘇くじゅう国立公園に指定されている由布岳や黒岳は、由布院温泉、湯平温泉、塚原温泉、庄内温泉の重要な泉源である。国立公園の指定により、乱開発の防止と、自然環境の保護・保全につながっている。



(環境省「阿蘇くじゅう国立公園 北部区域図」より)

¹³ 環境省「阿蘇くじゅう国立公園」<https://www.env.go.jp/park/aso/index.html>

②由布市環境基本計画の策定と実施

湯布院温泉郷が立地する由布市では、2016（平成28）年3月に「由布市環境基本計画」（計画対象期間は、2025（平成37）年度までの10年間）を策定した。本計画は、環境の保全・再生・創造に関する施策の具体的な取組を記載したものである。具体的な取組は、「水・緑・人が輝き続けるまち・由布市」を由布市の将来の環境像に設定し、具体的な取組として、由布市を川・森・里山・牧野、農地、暮らしのゾーンに分けて、それぞれのゾーンを軸とするプロジェクトと市全域での対応が必要な共通プロジェクトに大別される。湯布院温泉郷が目指す「滞在型国民保養温泉地」は、景観、温泉資源といった自然の恵みや野焼きや田園風景といった農村がもたらす風景が訪れた人々の心に作用する重要な働きをもつものであり、これらの保護・保全、そして創造的活用までを盛り込んだ計画で取組みが進められている。



資料 2 由布市環境基本計画

③由布市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例

美しい自然環境、魅力ある景観及び良好な生活環境の保全及び形成と急速に普及が進む再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和を図るため、「由布市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」（2014（平成26）年1月29日施行）を制定した。この条例は、由布市全域が対象であり、貴重な動植物の生息地域や由布市の象徴となるような優れた景観を保つべき地域は事業抑制区域に定められている。

④「豊かな水環境創出ゆふいん会議（豊水会）」の取組

「豊かな水環境創出ゆふいん会議（豊水会）」は、湯布院温泉郷を貫く大分川の源流域の環境保全を目的に2014（平成26）年に創設された、由布市と地域住民で構成された団体である。¹⁴温泉排水による大分川水系の水質への影響や温泉の湧出量の減少等の下記の課題に取り組む。取り組みの際には、学識者として九州大学にも助言等もらっており、由布院盆地内の河川環境や河川が作り出すのどかな風景は、このような民間の取組により維持されている。

- 1) 由布院盆地の河川等の水質悪化
- 2) 由布院盆地の温泉の湧水量減少
- 3) 金鱗湖の生態系の再生
- 4) 河川等の水辺で子供たちが遊べる環境の再生



¹⁴ 由布市と九州大学決断科学センターとの連携協定締結がきっかけ。
参考：<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/172>

(2) まちなみの保全に関する取組

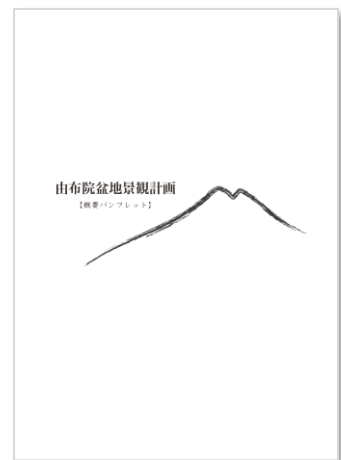
①湯布院の景観を守る「潤いのある町づくり条例」

高度経済成長期には、全国各地でリゾート開発が進んだ。由布院温泉においてもその影響を受け、このときに整備されたのが「潤いのある町づくり条例」(1990(平成2)年制定)である。この条例は由布市湯布院地域が対象であり、由布院温泉、塚原温泉、湯平温泉が該当する。これにより対象地域内の大規模な施設の建設、施設の階数・高さの制限、屋外広告物などの規制が行われている。「近隣関係者等の理解」という独自の取り決めが定められているように、湯布院地域内の各地点からの由布岳の眺望などは、このような取組によって守られている。

②観光地と暮らしを両立する「湯の坪街道周辺地区景観計画」 由布院盆地景観計画

景観法と由布市景観条例により、「湯の坪街道周辺地区景観計画・景観協定・紳士協定」が2008(平成20)年に策定(湯布院景観協議会設置)、「由布院盆地景観計画」が2013(平成25)年に策定された。

「湯の坪街道周辺地区景観計画」は、由布院温泉の中心的な観光地である湯の坪地区を対象としたものである。観光地として、店舗等が日々変化していく中で、湯の坪地区の景観を将来にわたり守るために策定したものである。元来生活の場所である湯の坪地区の景観は、地域の人々が守ってきたものであり、質の高い景観と市民生活と両立を維持していくための具体的なルールを記載している。



資料 3 由布院盆地景観計画

「由布院盆地景観計画」では、景観形成の方針として『ゆふいん建築・環境デザインガイドブック』(2000(平成12)年作成)(以下「ガイドブック」とする。)に準拠することが求められている。このガイドブックは、1997(平成9年)に旧湯布院町と地域住民により発足した「ゆふいん建築・環境デザイン協議会」が作成したもので、約20年前から地域住民が取り組んできた景観形成への取組みを継承したものとなっている(2011(平成23)年改定)。



写真 18 自然と調和する湯の坪街道

③由布市内全域の景観形成のための「由布市景観マスタープラン」策定

2009（平成21）年に「由布市景観マスタープラン」を策定し、由布市全体の景観形成の方向性が示された。これにより由布院温泉以外の各温泉においても景観形成の方針と具体的な取組を定めることとなった。特に湯布院地域においては、観光開発と景観形成との両立は人々の努力の歴史によるところが大きい。

該当する温泉	由布院温泉 湯平温泉 塚原温泉	庄内温泉	挾間温泉
	湯布院地域	庄内地域	挾間地域
	人口・産業 ・人口：11,042人（2005年） ・就業者：6,914人（2000年） ・人口・就業者は横ばい推移 ・主要産業は観光業と農業 ・就業者のほとんどが湯布院地域内の仕事に従事。	人口・産業 ・人口：8,943人（2005年） ・就業者：4,589人（2000年） ・人口・就業者は減少傾向 ・高齢化率が34.4%（2005年） ・主要産業は農業 ・就業者の23%（約1,000人）が大分市へ通勤	人口・産業 ・人口：15,401人（2005年） ・就業者：6,914人（2000年） ・人口・就業者は増加傾向 ・住宅開発による定住人口の増加 ・就業者の43%（約3,000人）が大分市へ通勤
	ルール ・都市計画 ・潤いのある町づくり条例（主として土地の造成や建物の建築などの開発に係わる条例であり、高さ制限や最低敷地面積や空地率など、都市計画で定められる数値より厳しい制限などがある）	ルール ・環境保全条例（主として廃棄物処理施設や家畜飼養施設などを対象とした騒音や排水、臭気に係わる条例）	ルール ・都市計画 ・環境保全条例（主として土地の造成や建物の建築などの開発に係わる条例）
	方針 ・山腹の緑の維持・保全 ・旅館・ホテル等の開発抑制 ・草原の維持・保全 ・水田の維持・保全 ・良好なまち並みの形成	方針 ・自然環境の維持・保全 ・水田の維持・保全 ・良好な居住環境の形成 ・良好な市街地環境の形成 ・景観づくり啓発活動の推進	方針 ・自然環境の維持・保全 ・水田の維持・保全 ・良好な居住環境の形成 ・良好な市街地環境の形成 ・景観づくり啓発活動の推進

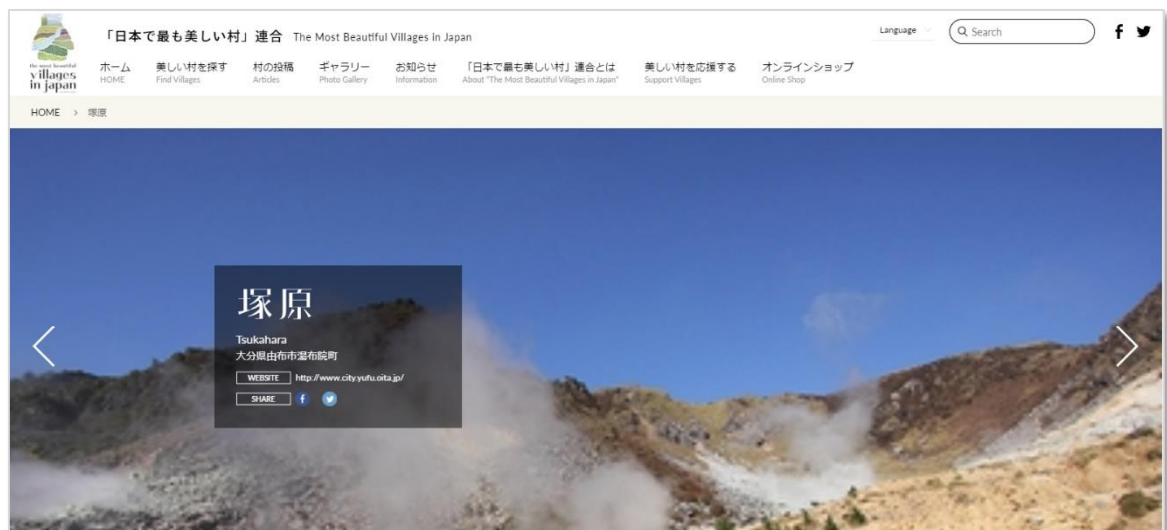
（由布市「由布市景観マスタープラン」26p、第2章14. 地域ごとの景観まちづくりのルールの継承）

④「農業振興地域の指定」による農地と農村景観の保全

湯布院温泉郷の立地する由布市では農業振興地域の指定により、農地と農村景観の維持・保全がなされている。農村と田園風景は湯布院温泉郷においては欠かせないものであるが、近年の農業の衰退（農地の減少と農業者の高齢化と減少）は著しい。一方で、農村民泊を中心としたグリーンツーリズムに積極的に取り組み、観光客に新たな湯布院温泉郷の楽しみ方を提供し、幅広い年齢層の交流人口を増やしている。農業を志す若手移住者などが増加するなかで、農業の維持・継承、そして農業世帯収入の増加などに取り組むことで農村景観を維持している。

⑤塚原温泉地「日本で最も美しい村」連合への加盟

塚原温泉は、2011（平成 23）年に「日本で最も美しい村」連合へ加盟した。「日本で最も美しい村」連合には、全国の 63 地域が加盟している¹⁵。「失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の風景や環境・文化を守り、地域資源を生かしながら美しい村としての自立をめざす運動を展開する」を目的に活動している。大分県内の加盟地域は塚原高原のみである。大分県畜産発祥の地として 4 世紀から続く塚原高原の集落は、約 450 年以上続く霧島神社の甘酒まつりなど独自の歴史を持っている。由布岳山麓に広がる広大な草原と、最小限の開発で営まれるペンションや伽藍岳・由布岳といった火山帯を源泉として湧出する豊かな温泉が、訪れる人の心を癒している。



資料 4 「日本で最も美しい村」連合 HP より

¹⁵ 63 地域の内訳は、29 町 24 村 10 地域 2018（平成 30）年 1 月現在。

参考：NPO 法人「日本で最も美しい村」連合ホームページ。 <http://utsukushii-mura.jp/about/overview/>

第4章 温泉利用の医学的な方策

4-1. 温泉の医学的立場からの利用法、健康管理法に関する指導者配置の現状

湯布院温泉郷における、医学的な立場から健康管理についての指導や入浴時の注意などに対応する医師の配置状況は次のとおりである。

(1) 医師

氏名（ふりがな）	桑野慎一郎（くわのしんいちろう）
所属（温泉地）	ゆずの木クリニック 院長
所属学会等	日本内科学会／日本消化器病学会／日本緩和医療学会 日本転倒予防学会／日本温泉気候物理医学会 日本クアオルト研究機構会員（研究者）
専門分野または資格等	日本温泉気候物理医学会温泉療法専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本内科学会認定内科医
活動内容	西洋医学の治療のほかに、食事やウォーキング等の薬に頼らない取組を進めている。温泉療法やクアオルトの研究を行っており、温泉利用・療養に関する相談を受け付けている。
配置年度	2018（平成30）年4月～

(2) 人材

水中運動指導者 （NPO 法人ヘルス・フィットネス・フォーラム）	「健康温泉館クアージュゆふいん」にて、週に1回水中運動教室を開催している。
由布市クアオルト推進協議会	温泉や自然をいかして、滞在しながら健康になれる温泉地づくりを進めるため、「クアオルト」という考え方をとりいれてプログラムをつくっている。「由布市クアオルト推進協議会」が中心となって活動しており、全国でクアオルトに取り組む地域で「日本クアオルト協議会」を立ち上げた。

4－2．温泉の医学的立場からの利用法、健康管理法に関する指導者の育成方針

由布院温泉に立地する健康温泉館クアージュゆふいん（市営施設）において、毎週水曜日には保健師による健康相談を行っている。その他、由布市クアオルト推進協議会、市内医療機関や、各温泉地の福祉施設と連携し、温泉入浴指導員講座への受講や指導員の育成に努める。

第5章 温泉資源の保護に関する方策

5-1. 温泉資源の状況

由布市における源泉数は939¹⁶存在している。主な源泉(381)について、温泉地別に資源の状況を記載する。(五十音順に記載)

(1) 由布院温泉

由布院温泉の区分は、1955（昭和30）年2月1日の湯布院町への合併前の行政区分「由布院町」を基準に記載する。

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
1	若杉温泉	38.0	単純温泉	動力	公営
2	一壺天の湯	49.9	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
3	湯布院山田	44.4	単純温泉	動力	民間
4	白滝の里	48	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
5	和山豊	51.5	単純温泉	動力	民間
6	湯布院別荘団地管理組合	77.5	ナトリウム-塩化物・硫酸塩・炭酸水素塩泉（中性低張性高温泉）	動力	民間
7	湯宿藏毘	97.4	ナトリウム-塩化物・硫酸塩泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
8	重見温泉組合	92.3	ナトリウム-塩化物泉	動力	民間
9	塚原口温泉	90	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
10	花の湯	47.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
11	株式会社丸珠物産湯布院 保養所	51.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
12	旅館庄屋の館	91.6	ナトリウム-塩化物・硫酸塩泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
13	湯布院庄屋の館	90.5	ナトリウム-塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
14	由布院温泉（江上病院保 養所センター内湯）	62.5	含重曹-弱食塩泉（緩和性低張高温泉）	動力	民間
15	あさ霧の湯	47.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
16	長閑郷	39.9	単純温泉	動力	民間
17	友里	69.8	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
18	友里	56.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
19	和の宿狭霧亭	80.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
20	陸上自衛隊湯布院駐屯地	45.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
21	山畔温泉	45.2	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
22	上の杜温泉	41.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
23	やぶつらの湯	52.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
24	御宿ゆふいん亭	54.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
25	癒しの里観布亭	63.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
26	西日本鉄道健康保険組合 湯布院保養所	68	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間

¹⁶ 平成29（2017）年3月末現在（大分県温泉利用状況報告書より）

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
27	民宿のがみ	67.4	単純温泉	動力	民間
28	玉の湯 3 号	55.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
29	日の春旅館 1・2 号泉	53.9	単純温泉	動力	民間
30	榎屋旅館	69.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
31	ホテル湯元内湯（由布院温泉）	68.9	単純温泉（緩和性低張高温泉）	動力	民間
32	ゆのつば温泉（湯の坪公衆浴場）	42.2	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	公営
33	湯布院温泉 御宿なか屋	65	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
34	合資会社玉の湯産業	56.8	単純温泉	動力	民間
35	両築の湯	51.3	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
36	由府両築（湯布院温泉）	66.3	単純温泉	動力	民間
37	霧野岩蔵	65.5	単純温泉	自噴	民間
38	民宿つたや	51.8	単純温泉	動力	民間
39	鳥越温泉組合	96.3	ナトリウム－塩化物泉	自噴	民間
40	由布岳地獄	95.5	ナトリウム－塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
41	松岡温泉	60.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
42	無量塔温泉	63.0	単純温泉	動力	民間
43	重見温泉（湯布院温泉）	90	ナトリウム－塩化物泉	動力	民間
44	ゆふいん泰葉 杜の湯	98.4	ナトリウム－塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
45	御宿一禅	89.4	ナトリウム－塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
46	鳥越地獄	72.3	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
47	御膳屋温泉	71.6	ナトリウム－塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
48	(株)アクテム	79.8	ナトリウム－塩化物泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
49	S A B I 亭 祥泉	59.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
50	湯布院万葉の湯	76	ナトリウム－硫酸塩・塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
51	鈴木小菊（湯布院温泉）	76	ナトリウム－塩化物・硫酸塩泉	動力	民間
52	由布院温泉	47.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
53	修養道場内湯（湯布院町）	48.5	含食塩－重曹泉（緩和性低張高温泉）	動力	民間
54	旅館ほてい屋	72.1	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
55	今昔温泉	69.7	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
56	カシオ健保湯布院保養所	64.2	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
57	民宿つたや	51	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
58	湯布院温泉	40.8	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
59	湯布院温泉カントリーイン麓舎	52.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
60	宿房はうら	56.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
61	湯布院山灯館	61.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
62	ぬるかわ温泉	65.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
63	YUFUIN FLORAL VILLAGE HOTEL	56.9	単純温泉	動力	民間
64	湯の坪横町足湯温泉	73.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
65	御宿なか屋	55	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
66	無尽蔵温泉	32.2	単純温泉	動力	民間
67	草庵秋桜	60	単純温泉	動力	民間
68	なな川温泉	61.2	単純温泉	動力	民間
69	旅亭田乃倉	54.2	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
70	田乃倉温泉	52.1	単純温泉	動力	民間
71	亀の井温泉	53.9	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
72	金鱗湖豊の国内湯	54.8	単純温泉	動力	民間
73	岳本共同温泉	69.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
74	岳本共同温泉	63.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
75	ぬるかわ温泉	69.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
76	月廻湯	51	単純温泉	動力	民間
77	草庵秋桜	58.2	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
78	由布院ユウベルホテル 1 号泉	55.1	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
79	民宿力武	49.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
80	湯布院温泉	54.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
81	弓矢温泉	51.4	単純温泉	動力	民間
82	山荘吉祥	52.8	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
83	山荘山重	54.3	単純温泉	動力	民間
84	湯わらしの湯	54.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
85	桃太郎	54.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
86	木蓮	43.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
87	丸信不動産㈱	36.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
88	西部ガスグループ・第一 火災グループ研修保養所 ゆふトピア	37.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
89	第一火災湯布院研修所 （湯布院温泉）	27.3	単純温泉	動力	民間
90	湯布院温泉開花亭の湯	51.0	単純温泉	動力	民間
91	H O T E L 黎明	63.6	単純温泉（中性低張性高温泉）	動力	民間
92	寿 3 号温泉（由布院温 泉）	66.1	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間
93	寿別荘	71.8	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉（アルカリ性低張 性高温泉）	動力	民間
94	青山プラザ保養所	43.8	アルカリ性単純温泉	動力	民間
95	青山プラザ保養所	55.4	アルカリ性単純温泉	動力	民間
96	ペンション Kojyo	45.6	アルカリ性単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
97	津江の庄温泉	49.6	アルカリ性単純温泉	動力	民間
98	株式会社ソロン	66	単純温泉	動力	民間
99	天心の大湯	60.0	単純温泉	動力	民間
100	天心の大湯	69.5	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
101	竜雲山荘階段風呂	63	単純温泉	動力	民間
102	旅館光の家	48.4	単純温泉	動力	民間
103	おやど開花亭	53.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
104	ペンションしらかば	57.4	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
105	御宿さくら亭	57	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
106	春海温泉	73.3	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間
107	首藤温泉	41.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
108	柚富の郷彩岳館 熱湯	70.2	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
109	柚富の郷彩岳館 温湯	52.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
110	湯布院厚生年金病院（No. 2）	92.8	単純温泉（中性低張性高温泉）	動力	民間
111	湯布院厚生年金病院（混 合泉）	67.5	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
112	民宿おく荘	54.5	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
113	めばえ荘（由布院温泉）	54.1	単純温泉	自噴	民間

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
114	湯布院温泉めばえ荘	47.7	単純温泉（中性低張性高温泉）	自噴	民間
115	ゆふいんホテル秀峰館	43.2	単純温泉	動力	民間
116	由布岳温泉	47.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
117	ペンションしらかば	45.3	単純温泉	動力	民間
118	はなせん	37.5	単純温泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
119	悠仙洞	48.1	単純温泉	動力	民間
120	フォーデイズ株式会社湯 布院保養所	47.6	単純温泉	動力	民間
121	亀の井別荘	58.3	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
122	旅館千由家	58.7	単純温泉	動力	民間
123	ほたるの宿仙洞	48.5	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
124	やどやの湯	57.3	単純温泉	動力	民間
125	湯布院別邸樹	39.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
126	柚富乃木里温泉	56.8	単純温泉	動力	民間
127	御宿 天日	61.9	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
128	お宿てんにち	50.5	単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
129	玉の湯旅館 1 号泉	53	単純温泉	動力	民間
130	玉の湯旅館 2 号泉、3 号 泉	62.2	単純温泉	動力	民間
131	玉の湯 1 号	55.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
132	玉の湯 2 号	50.5	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
133	山紫御泊処はなの舞	49.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
134	ペンション木綿恋記	52	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
135	ペンション木綿恋記	54.5	単純温泉	動力	民間
136	みずうち	52.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
137	湯坪 3 号	48.2	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
138	旅想やまだ屋	56.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
139	城の湯	46.4	単純温泉	動力	民間
140	ゆふいん健康温泉館	54.4	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	公営
141	旅荘牧場の家	53.5	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
142	（仮称）牧場温泉	54.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
143	ゆふいん健康温泉館	56.9	単純温泉	動力	公営
144	山水館	60	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
145	旅館山水館	52.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
146	ホテルことぶき内湯（由 布院温泉）	64.1	単純温泉（緩和性低張高温泉）	動力	民間
147	由布院温泉	59.3	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
148	国民宿舎由布山荘	50.5	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
149	国民宿舎由布山荘	57.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	公営
150	乙丸温泉	56.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	公営
151	コーワパークホテル由布 院倶楽部	57.4	単純温泉	動力	民間
152	旅館百合	56.3	単純温泉	動力	民間
153	コスモ湯布院別邸	62	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
154	旅館しらたき	56.2	単純温泉	動力	民間
155	旅館鶴の湯内湯（由布院 温泉）	61	単純温泉（緩和性低張高温泉）	動力	民間
156	山荘鶴の湯	62.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
157	フジジン保養所内湯（湯 布院町）	64	単純温泉（緩和性低張高温泉）	自噴	民間
158	ペンション白いブランコ	51.8	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
159	湯布院町美術館	67.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
160	ふく屋の湯	61.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性低温泉）	動力	民間
161	香椎荘	52.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
162	湯布院はな村	49.5	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
163	香椎荘	59.3	単純温泉	動力	民間
164	由布院山ぼうし	53.2	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
165	ゆふいん金鱗堂	54.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
166	シティホテルビックベア ー	48.0	単純温泉	動力	民間
167	コーワパークホテル由布 院倶楽部	49.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
168	民宿好の井	72	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間
169	旅館近江屋内湯	51.7	単純温泉（緩和性低張高温泉）	動力	民間
170	岩男病院	49.6	単純温泉	動力	民間
171	旅館たつみ（湯布院温 泉）	58.8	単純温泉	動力	民間
172	ゆふいん温泉荘の湯	43.9	単純温泉	動力	民間
173	日本文理大学湯布院研修 所	64.9	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
174	旅館ゆふのさと	43.9	単純温泉	動力	民間
175	旅荘さくや	50.1	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
176	旅館由布ヶ峰	52	アルカリ性単純温泉	動力	民間
177	田舎宿百万遍	51.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
178	やまなみの湯	48.1	単純温泉	動力	民間
179	おやど仙壽	43.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
180	乙丸温泉	56	単純温泉	自噴	民間
181	由布院駅足湯	50.2	単純温泉	動力	民間
182	阿部建設温泉	50.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
183	旅館日乃新（湯布院温 泉）	52.8	単純温泉	動力	民間
184	日乃新温泉	48.0	単純温泉	動力	民間
185	花の湯温泉	53.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
186	山もみじ	26.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性低温泉）	動力	民間
187	佐伯市つるみ山荘	53.7	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	公営
188	旅館山もみじ	54.6	アルカリ性単純温泉	動力	民間
189	わらび野温泉由布の湯	60.3	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
190	ペンションぬのぜん	48.3	アルカリ性単純温泉	動力	民間
191	東急湯布高原温泉	52.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
192	天望館	52.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
193	朝翔館	58.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
194	朝翔館	58.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
195	高原 3 号	49.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
196	ゆふいん花由〔2号井〕 泉源	42.3	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
197	ゆふいん花由〔3号井〕 泉源	57.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
198	ゆふいん花由温泉	52.1	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
199	無作の三身湯	44.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
200	旅館二本の葦束	76.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
201	湯布院温泉	34.0	単純温泉	動力	民間
202	山荘わらび野	72.3	ナトリウム－塩化物・硫酸塩泉（アルカリ性低張性高 温泉）	動力	民間

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
203	鶴見町総合研修センター 「つつみ山荘」	28	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性温泉）	動力	公営
204	湯布高原株式会社（由布 院温泉）	53.1	単純温泉	動力	民間
205	東急湯布高原別荘地	39	単純温泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
206	湯布高原株式会社配湯事 業用（大分郡）	54.1	単純温泉	動力	民間
207	石武共同温泉	61.0	単純温泉	動力	民間
208	（仮称）大橋温泉	44.5	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
209	おおはし温泉	40.3	単純温泉	動力	民間
210	川北の湯	34.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
211	老人ホーム白心荘	25.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性低温泉）	動力	民間
212	山荘紗羅樹	25.8	単純温泉	動力	民間
213	湯布院の家	46.8	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
214	柚富の湯	44.1	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
215	由布のお宿ほたる	43.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
216	日輪大分事業所（湯布院 温泉）	44.3	単純温泉	動力	民間
217	保養所東急湯布高原別荘 地	51.3	単純温泉（中性低張性高温泉）	動力	民間
218	光永さくら湯	47.3	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
219	協栄産業湯布院わらびの 里（由布院温泉）	48	単純温泉	動力	民間
220	小堀温泉	26.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性低温泉）	動力	民間
221	玉屋旅館（湯布院温泉）	50.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
222	朝霧温泉	53	単純温泉	自噴	民間
223	昔囃	47.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
224	カトレヤ	71.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
225	耶馬溪牧場	51.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
226	あん田の湯	70	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
227	湯布院温泉別荘ふるさと	50.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
228	民宿由乃樹	52	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
229	三角屋旅館	69.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
230	御宿陣の内	74	単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）	動力	民間
231	山水館（湯布院温泉）	73.4	単純温泉	動力	民間
232	ゆふいん山水館 ゆふの 湯 あさぎりの湯	71.6	単純温泉（中性低張性高温泉）	動力	民間
233	ペンションゆふいん	50	単純温泉	動力	民間
234	ペンションゆふいん	53.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
235	徳永荘の湯	57.4	単純温泉	動力	民間
236	ロマネスクリゾート湯布 院	51.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
237	湯布院厚生年金保養ホー ム（湯布院温泉）	76.6	アルカリ性単純温泉	動力	民間
238	湯布院厚生年金保養ホー ム	68.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
239	湯布院厚生年金病院	38	単純温泉（弱アルカリ性低張性温泉）	自噴	民間
240	御宿のぎく温泉	45.9	単純温泉	自噴	民間
241	湯布院厚生年金保養ホー ムNo.1	75.1	（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
242	山荘由布（由布院温泉）	59	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉	動力	民間
243	由布院温泉（日野病院内湯）	99	含重曹－弱食塩泉（緩和性低張性高温泉）	自噴	民間
244	ゆふいん石松温泉	98.3	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
245	山荘田名加	84.1	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間
246	山荘田名加	79.6	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
247	ゆふいん百姓本舗湯がき丸太	90.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
248	湯布院温泉 旅館上の湯	88	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
249	欧風旅館湯布院モール	89.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
250	風の森温泉	96.3	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
251	良信・重久（混合湯）	81.9	アルカリ性単純温泉	動力	民間
252	良信	64.2	アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性高温泉）	動力	民間
253	加勢の湯（石松公衆浴場）	80.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	公営
254	由布院温泉（九州林産）	89	単純温泉（中性低張性高温泉）	自噴	民間
255	キリンビール湯布院保養所	84.1	アルカリ性単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
256	日本石油健康保険組合湯布院荘（湯布院温泉）	89.8	単純温泉	動力	民間
257	いづみや旅館	74.3	単純温泉	動力	民間
258	山の宿ニュー富士	49.5	単純温泉	動力	民間
259	日本道路公団 湯布院山荘（湯布院温泉）	75.5	単純温泉	動力	民間
260	ホテルニュー富士内湯（由布院温泉）	63.1	単純温泉（緩和性低張性高温泉）	動力	民間
261	旅所佳舎	62.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
262	厚生年金湯布院病院 2 号泉	99	含重曹－弱食塩泉	自噴	民間
263	湯布院厚生年金病院（湯布院温泉）	99	ナトリウム－塩化物泉	自噴	民間
264	風の山荘山城	98.4	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉	自噴	民間
265	七色の風	71.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
266	㈱鐵原大分支店	56.7	単純温泉	動力	民間
267	山荘吾亦紅温泉	58.8	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
268	朝日麦酒保養所内湯（湯布院町）	68	単純温泉（緩和性低張性高温泉）	動力	民間
269	御夢想温泉（40 t タンク）	66.7	アルカリ性単純温泉	動力	民間
270	旅館富季の舎	72.1	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
271	富季の舎の湯	86.2	アルカリ性単純温泉	動力	民間
272	由布院いよとみ	79.4	アルカリ性単純温泉	動力	民間
273	ラストグラス	59.5	アルカリ性単純温泉	動力	民間
274	ますや旅館内湯	66	単純温泉	自噴	民間
275	由布院観光ホテル	65.4	単純温泉	自噴	民間
276	田中市温泉	65	単純温泉	自噴	民間
277	水月荘	71.3	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
278	民宿蓮輪	72.6	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
279	東匠庵の湯	66.3	アルカリ性単純温泉	動力	民間
280	国民金融公庫健康保険組合 湯布院保養所	72.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
281	旅館ちくほう荘内湯	67.5	単純温泉（緩和性低張性高温泉）	動力	民間
282	家族湯	77.2	アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性高温泉）	動力	民間
283	安部	73.3	アルカリ性単純温泉	動力	民間
284	ホテル遊輪	60.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
285	多幸畔	58.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
286	ホテル遊輪	50.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
287	不動産建設株式会社九州支店	62.9	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
288	由布院温泉たまゆらの湯	49.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
289	旅館ゆふいん霧の里	54	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
290	ゆふいん旅館ゆすらうめ	50.3	単純温泉	動力	民間
291	ゆふいん松柏園ホテル露天の湯（1号泉）	52	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
292	ゆふいん松柏園ホテル館内の湯（2号泉）	49	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
293	直建設備保養所	50.4	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
294	城ヶ岳温泉	44.3	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
295	ホテル時遊館	54.2	アルカリ性単純温泉	動力	民間
296	中川温泉	48.3	アルカリ性単純温泉	動力	民間
297	ハーベストファーム	44.1	ナトリウム－硫酸塩・塩化物泉	動力	民間
298	中川温泉蛙乃湯	59.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
299	川西交流センター温泉	53.8	含鉄（Ⅱ）－ナトリウム・カルシウム－硫酸塩泉	動力	公営
300	香乃蔵温泉	61	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
301	関の元温泉 黄金乃湯	49.7	ナトリウム・カルシウム－硫酸塩泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
302	ゆふの丘プラザ	61.5	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
303	プライム・ヴィラ湯布院高原	72.1	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
304	プライム・ヴィラ湯布院温泉	64.9	アルカリ性単純温泉	動力	民間
305	龍のひげ信楽の湯	47.1	単純温泉	動力	民間
306	山荘ゆむ田の森	46.4	単純温泉（弱酸性低張性高温泉）	動力	民間
307	栗谷泉源（栗谷温泉）	69.2	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉	動力	民間
308	湯田山の湯	76.8	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
309	奥江共同温泉	68.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
310	農家民宿奥湯の郷		ナトリウム－炭酸水素塩・硫酸塩泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
311	奥湯の郷	99	ナトリウム－塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	自噴	民間
312	山下湖温泉	52.3	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間

(2) 湯平温泉

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
313	下湯平共同温泉（幸せの湯）	58.1	ナトリウム－硫酸塩泉（中性低張性高温泉）	動力	公営
314	幸野温泉	33.2	単純温泉（緩和性低張微温泉）	動力	民間

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
315	賀陽荘	67.8	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉（中性低張性高温泉）	動力	民間
316	秀泉閣	56.2	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉	自噴	民間
317	銀の湯温泉	56.8	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
318	花の湯	64.5	弱食塩泉	自噴	民間
319	鶴屋隠宅温泉	59.5	弱食塩泉	動力	民間
320	砂湯	53.5	弱食塩泉	自噴	民間
321	鶴屋鶴湯	51.5	単純温泉	自噴	民間
322	金湯	88.1	弱食塩泉	自噴	民間
323	大湯飲用泉源	66.6	ナトリウム－塩化物・硫酸塩泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
324	湯平大湯	67.3	ナトリウム－塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
325	大正湯大正館	70	弱食塩泉	自噴	民間
326	新屋新湯	66	弱食塩泉	自噴	民間
327	花灯り	51.5	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
328	白滝湯	65.5	弱食塩泉	自噴	民間
329	車屋温泉	72.5	弱食塩泉	自噴	民間
330	湯平温泉集中管理事業組合 3 号	63.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
331	湯平温泉町営 2 号井	63.1	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉	動力	民間
332	湯ノ平中鶴 2 号	81.9	ナトリウム－塩化物泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	公営
333	中津留温泉（湯平温泉）	91.8	ナトリウム－塩化物泉	動力	公営
334	九州林産株式会社 3 号泉	61	単純温泉	動力	民間
335	”ゆとりとふれあい”湯ノ平	49.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間

（３）塚原温泉

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
336	九州口グハウス	30.2	アルカリ性単純温泉	動力	民間
337	由布乃荘	25.4	単純温泉（中性低張性低温泉）	動力	民間
338	由布乃庄	25.1	単純温泉	動力	民間
339	塚原温泉火口乃泉	50.4	酸性・含鉄（Ⅱ，Ⅲ）－アルミニウム－硫酸塩泉	自噴	民間
340	塚原温泉関屋の湯	51	酸性アルミニウム・鉄（Ⅱ）－硫酸塩泉	自噴	民間
341	塚原温泉火口乃泉	23.6	酸性－アルミニウム・鉄（Ⅱ・Ⅲ）－硫酸塩冷鉱泉	自噴	民間
342	塚原温泉火口乃泉	73.6	酸性・含硫黄・鉄（Ⅱ，Ⅲ）－アルミニウム－硫酸塩泉（硫化水素型）	自噴	民間
343	塚原温泉火口乃泉	56.0	酸性・含鉄（Ⅱ，Ⅲ）－アルミニウム－硫酸塩泉	自噴	民間
344	リックスプリングヴァレ－混合泉	40.7	ナトリウム・マグネシウム・カルシウム－硫酸塩・炭酸水素塩泉	動力	民間
345	リックスプリングヴァレ－2 号泉	29.9	カルシウム・マグネシウム・ナトリウム－硫酸塩・炭酸水素塩泉	動力	民間

（４）庄内温泉

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴/ 動力	所有者
346	いずみの湯	47.7	ナトリウム-硫酸塩泉	動力	民間
347	神楽の里 庄内温泉 ことぶきの湯	45.7	単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間

348	小野屋温泉（小野屋温泉）	51	単純温泉	自噴	民間
349	庄内厚生館	33.0	アルカリ性単純温泉	動力	民間
350	瑞泉	61.5	ナトリウム－硫酸塩泉	動力	民間
351	庄内温泉情和園	55.2	ナトリウム－硫酸塩・塩化物泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
352	情和苑内湯（大分郡）	43	単純温泉	自噴	民間
353	庄内厚生館（庄内温泉）	53.3	ナトリウム－硫酸塩泉	動力	民間
354	庄内厚生館	50.4	ナトリウム－硫酸塩泉	動力	民間
355	透埼温泉（庄内温泉）	47.8	単純温泉	動力	民間
356	すみよし屋	41.7	単純温泉	動力	民間
357	庄内駅前 ほのぼの温泉 2 号泉	50.6	単純温泉	動力	公営
358	庄内ほのぼの温泉（ふれあい交流温泉館）	43.5	ナトリウム－硫酸塩・塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	公営
359	城ヶ原オートキャンプ場浴場	46.3	ナトリウム－硫酸塩・塩化物泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	公営
360	溪仙峡やまびこ温泉	37.3	単純温泉（中性低張性温泉）	自噴	公営
361	鶴ノ湯	51.5	ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
362	よいやな	10.6	単純二酸化炭素冷鉱泉	自噴	民間
363	銘水の郷	44.5	ナトリウム－炭酸水素塩泉（弱アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
364	阿蘇野冷泉（庄内町）	24	含重曹－重炭酸土類泉（緩和性低張冷鉱泉）	自噴	民間
365	阿蘇野鉱泉	26	含重曹・炭酸－土類泉	動力	民間

（５）挟間温泉

区域図 源泉 NO	源泉名	(°C)	泉質	自噴／ 動力	所有者
366	高崎山温泉おさるの「ゆ」	48.3	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
367	九州環境管理保養所	48.6	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
368	かげの木温泉	55.8	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
369	極楽温泉	51.2	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
370	極楽温泉	38.5	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
371	はさま温泉 ゆの杜竹泉	50.6	アルカリ性単純温泉	動力	民間
372	地獄温泉	62.8	ナトリウム－塩化物泉（中性高張性高温泉）	動力	民間
373	公衆浴場きのこの里	47.5	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）	動力	民間
374	豊後三船の湯	47.1	ナトリウム－炭酸水素塩泉	動力	民間
375	海老毛温泉	44	含炭酸、硼酸、重曹－食塩泉	自噴	民間
376	ツル温泉（大分郡）	42	含重曹食塩泉	動力	民間
377	挟間町老人福祉センター（挟間温泉）	48.7	ナトリウム－塩化物泉	自噴	公営
378	黒川鉱泉	21	含炭酸土類鉱泉	自噴	民間
379	挟間温泉	47.5	ナトリウム－塩化物強塩泉（中性高張性高温泉）	自噴	民間
380	いやしの湯	40.4	アルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性温泉）	動力	民間
381	健寿荘	35.9	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉（弱アルカリ性低張性温泉）	動力	民間

※大分県鉱泉誌及び大分県温泉分析書のデータによる。

※源泉名は、個人名義のものは除く。

5-2. 温泉資源保護に関する取組の現状

むやみな掘削を防ぎ、温泉資源を保護するため、大分県環境審議会温泉部会では、特別保護地域、保護地域の指定等により、温泉資源を保護している。湯平温泉では1970（昭和45）年から、県内で唯一、温泉の集中管理方式による利用が行われており、温泉資源の保護と適正利用のモデルケースとなっている。¹⁷

由布院温泉と湯平温泉で合わせて4か所においては、泉温・湧出量・水位などを月に1度観測をし、大分県に報告している。

大分県環境審議会温泉部会による特別保護地域、保護地域は以下の通り。

【特別保護地域】

①湯布院町川南特別保護地域

主要地方道別府一の宮線と山崎・西石松自治区境界線との交点を起点に、一方は真南方向へ、一方は主要地方道別府一の宮線を東進し西石松公民館東側の農道を下り、町道田中市石松線を経て、町道川南線に入り同線を西進し、道路沿いの防火水槽横からJR久大線に入り、線路に沿って大分川に進み、同川左岸から鳴子谷川右岸に沿い上り町道六所線との交差点に至り、更に東進し、宇奈岐日女神社（通称、六所宮）鳥居前の里道に入りこれを南進し主要地方道別府一の宮線に交わる地点から真南方向へ、それぞれ主要地方道別府一の宮線沿いに引く400m幅の線で囲まれた区域

②湯布院町乙丸・温湯特別保護地域

御幸橋より大分川右岸を下り、田中市児童公園（通称、あさぎり公園）先里道を北西に進み、川北第一工区支線排水路を経て、JR由布院駅構内に入り、JR久大線を野矢方向に進み宮川鉄橋に至る。更に同地点を流れる宮川・荒木川右岸に沿って北進し、県道別府湯布院線に至り、同線を東進し、町道並柳線、町道佐土原乙丸線、県道鳥越湯布院線を経て自衛隊東側角から西日本鉄道健康保健組合保養所裏の里道を中島橋に抜け、湯ノ坪川左岸から里道、町道岳本中島線を経て町営岳本住宅上に達し、同地点を通過し里道に入る。更にカシオ計算機（株）保養所横から県道別府湯布院線を横断し、里道に入り下ん湯、町道六所線、町道中島津江線（津江橋を渡る）を経て大分川に至り、同川左岸から城橋を渡り、右岸に沿い起点御幸橋に至る区域

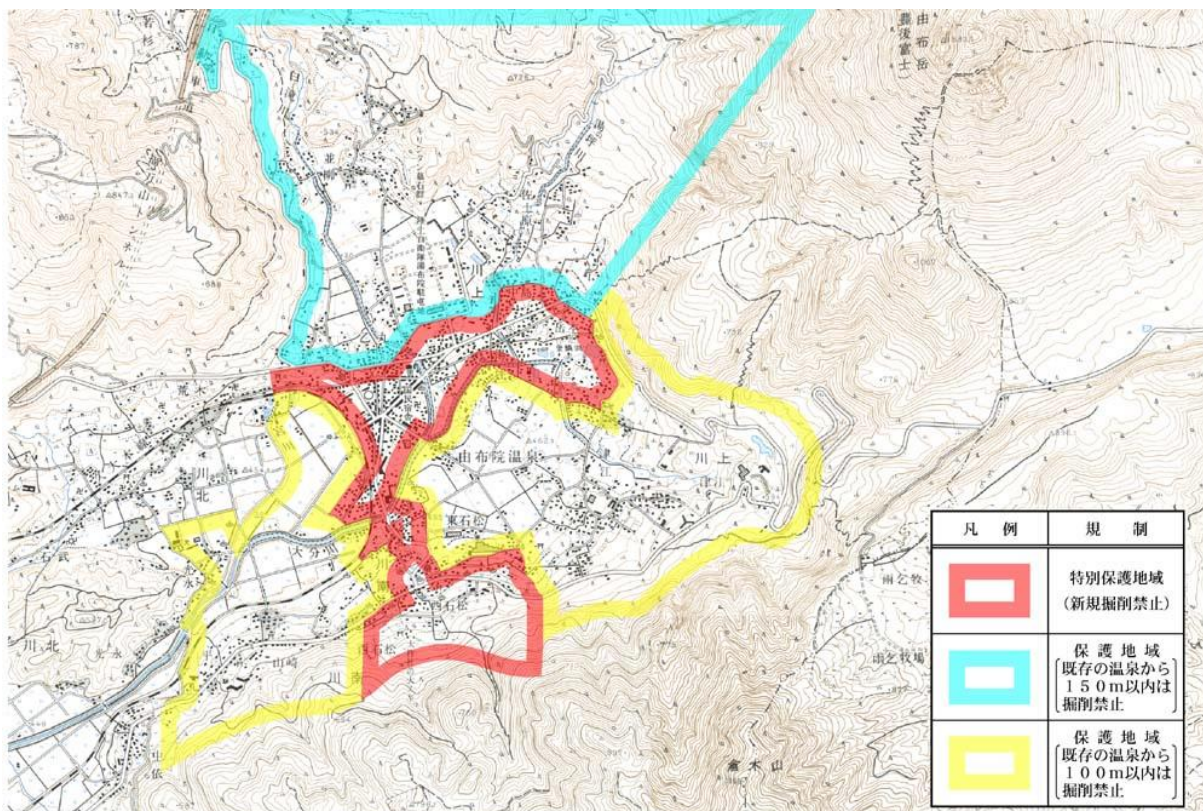
③湯布院町湯平特別保護地域

湯平地区ふれあい公園北東角から花合野大橋間の花合野川及び同川右岸から東側に、左岸から西側に、それぞれ川沿いに引く300m幅の線で囲まれた区域

¹⁷ 大分県「おおいた温泉基本計画」2016（平成28）年3月50ページ

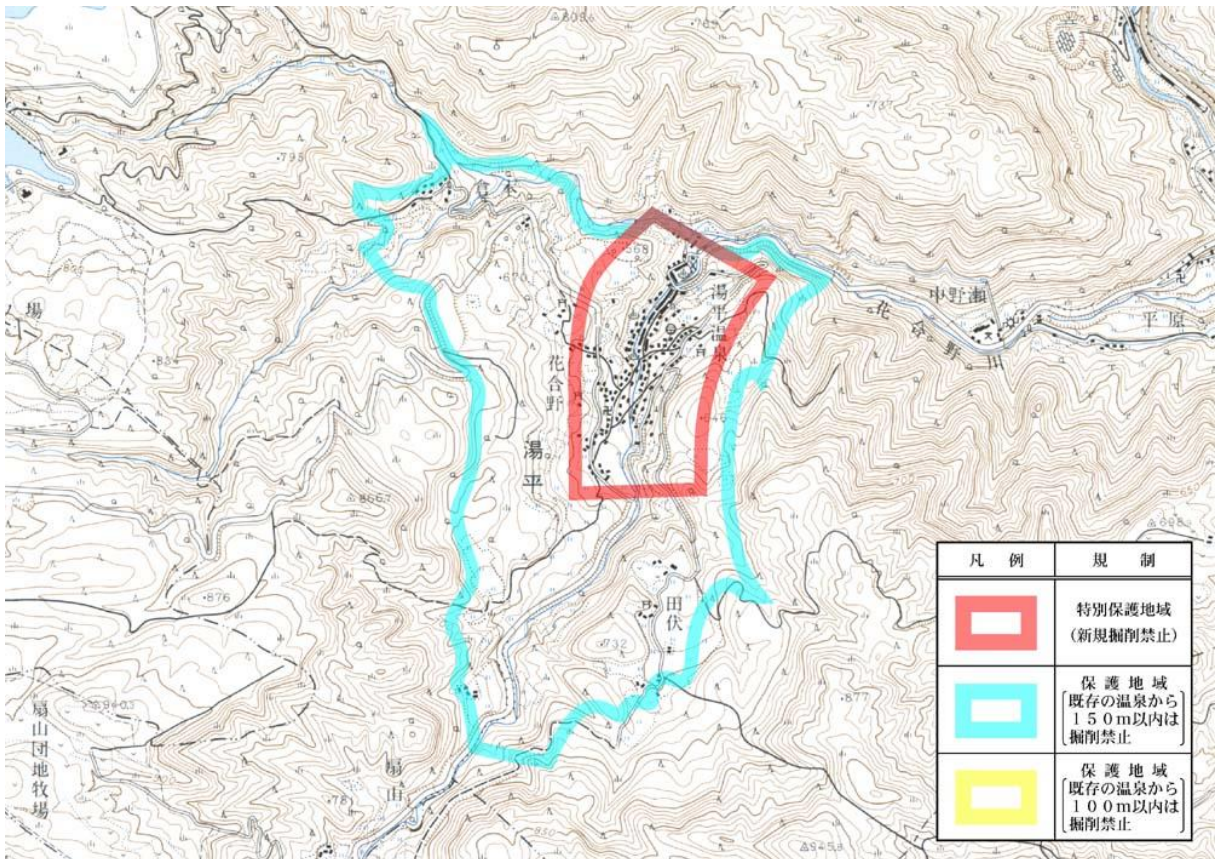
【保護地域】

- ①湯布院町並柳・佐土原保護地域字乙丸、並柳、佐土原、中島、岳本の一部（由布山西岳山頂と由布岳西登山口を直線で結び、更に県道別府湯布院線を横断し里道に入る線を境に北側の区域、及び由布岳の西岳山頂と白滝川上流の若杉防災ダム主堤南端とを東西に結ぶ線が大分自動車道と交差する南側区域）ただし、県道安心院湯布院線を境にし東側特別保護地域を除く区域
- ②湯布院町六所宮保護地域大字川上、川南地区のうち特別保護地域を除く区域で、その南東側は主要地方道別府一の宮線沿いに山側に引く 200m 幅の線で囲まれた区域と、北東側県道別府湯布院線沿いに山側に引く 200m 幅の線が交わる区域
- ③湯布院町荒木・山平保護地域主要地方道別府一の宮線と中川・川南の字境との交点を起点に、一方は真南方向へ主要地方道別府一の宮線沿いに引く 400m 幅の線で囲まれた区域。一方は主要地方道別府一の宮線を横断し、町道八山線に入り、同線を北進し、町民グラウンド北西側角から農道に入り、更に同線を東進し、町道山崎荒木線に入り、同線を南進して宮川に至り、更に同右岸に沿って宮川鉄橋に至る線と湯布院町川南特別保護地域、湯布院町乙丸・温湯特別保護地域により囲まれた区域



(大分県「温泉掘削規制地図」<http://www.pref.oita.jp/site/onsen/onsen-chizu.html>)

④湯布院町湯平保護地域 大字湯平字二重山・川原・平谷・古屋敷・久保田・平田ヤシキ・永道・出口・後山・東山・平・平ノ上・松ノ本・ソラ・北平・タキツボ・トヤ畑・上ヤシキ・切通・丸畝町・ナクサコ・一本ハサコ・押ノ元・前・西田・ヲクツエ・下田・ヨトラリ・西園・林ノロ・山ノロの全区域 大字湯平字京塚山・用ノ塚・ホヤノ迫・池シロ・クマノサカ・ツル・トビノス・宮ノ下・富山・コエトウ・下ヤシキ・ヌル水・スス原・前田・大畝町の特別保護地域を除く区域大字湯平字水洗 31 番～51 番・字カトイシ 695 番～705 番・708 番 2～708 番 5・708 番 19・708 番 29・710 番～715 番・716 番 14・716 番 15・716 番 36・718 番の区域



(大分県「温泉掘削規制地図」 <http://www.pref.oita.jp/site/onsen/onsen-chizu.html>)

5－3．温泉資源保護に関する今後の方策

今後も、大分県環境審議会温泉部会での保護地域において、定期的な泉温・湯量・水位の観測を継続する。今後は、大分県と連携して、塚原温泉、庄内温泉、挾間温泉においても観測を検討する。

第6章 温泉の衛生的保護に関する方策

6-1. 温泉利用にあたっての関係設備等の状況

温泉地名	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
全温泉地	939	引湯管、貯湯槽	316 ¹⁸

6-2. 温泉の衛生面確保に関する取組の現状

定期的な計測及び記録については、各施設の自主判断としており、温度・湧出量・水位について、視覚や感覚によるチェックが行われている。

設備名		区分	取組の現状	実施主体
源泉		自主的	水質検査を年に1回以上実施。	源泉所有者
引湯管		自主的	スケールの付着を不定期にチェックし、必要に応じて清掃を実施。	源泉所有者 設備所有者
貯湯槽		自主的	点検・清掃を年に1回以上実施し、必要に応じて消毒を実施。	設備所有者
浴槽	浴槽水	自主的	常に浴槽を満たす状態とし、毎日～週1回の頻度で浴槽水の交換を行っている。水質検査については年に1回以上実施。	設備所有者
	浴槽	自主的	浴槽水排出後、清掃・消毒を実施。	設備所有者
	濾過機	自主的	循環式浴槽を設置している施設については、1週間に1回以上の逆洗浄を実施。	設備所有者
	集毛器	自主的	毎日清掃を実施。	設備所有者
飲泉施設		自主的	飲泉設備を保有し、提供する施設は水質検査を年に1回以上実施。	源泉所有者 設備所有者
その他		自主的	「浴槽に入る前には身体を洗うこと」など、入浴上の注意事項を脱衣室などの入浴者の見やすい場所に掲示。	設備所有者

6-3. 温泉の衛生面確保に関する今後の方策

湯布院温泉郷では、温泉利用のために使用している設備について現在講じている衛生面での取組は、「公衆浴場における衛生等管理要領」等に則り 6-2 の取組を継続していく。

¹⁸ 旅館台帳（2014（平成26）年9月）と由布市作成の地域別立ち寄り湯一覧より算出

第7章 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

7-1. 温泉の公共的利用の状況

湯布院温泉郷は、1955（昭和30）年代後半から地域主導でまちづくりを推進してきた由布院温泉地を中心的存在とし、国内外から多くの観光客が訪れている。2016（平成28）年4月に起きた熊本地震の影響で、2016（平成28）年度の国内観光客数は前年より13%減少した。その一方で、外国人観光客数は増加し続けている。また、2015（平成27）年のピーク時には届かないまでも、平成29年調査では少しずつ観光客数は戻っており、温泉地として根強い人気がある。

近年の由布市における観光客数の推移は、以下のとおりである。（出典：由布市観光動態調査）

（1）過去3年間の観光客数 （単位：人）

年度	日帰り人数		宿泊人数		合計		備考
		うち 外国人		うち 外国人		うち 外国人	
2015(平成27)年	3,322,505	149,659	787,907	60,014	4,110,412	209,673	大分 DC※
2016(平成28)年	2,945,800	170,936	686,743	63,014	3,632,543	233,950	熊本・大分地震
2017(平成29)年	3,053,524	355,980	806,673	118,659	3,860,197	474,639	JR 久大本線全線開通

※2015（平成27）年はおんせん県おおいたデスティネーションキャンペーンを実施

（2）直近1年間2017（平成29）年の観光客数 （単位：人）

区分	観光客数					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日帰り	228,591	214,116	278,278	251,479	275,754	239,110
うち外国人	26,699	27,055	33,818	30,258	30,970	26,699
宿泊	65,066	50,029	74,097	68,963	76,268	60,899
うち外国人	8,900	9,018	11,273	10,086	10,323	8,900

区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日帰り	217,355	289,277	262,126	268,987	287,790	240,661
うち外国人	27,766	35,954	27,055	29,902	30,970	28,834
宿泊	48,749	85,857	67,680	77,051	74,646	57,368
うち外国人	9,255	11,985	9,018	9,967	10,323	9,611

7-2. 温泉の公共的利用増進に関する取組の現状

【湯布院温泉郷全体】

(1) 健康温泉館「クアージュゆふいん」における温泉を活用した健康づくりの取組

「クアージュゆふいん」は、温泉を活用したバーデゾーンと呼ばれるプールで、水中運動を行うことができる施設である。建設にあたっては、湯布院のまちづくりの基本方針であった「クアオルト」というドイツの気候性地形療法に基づく考え方を取り入れている。プールのほかにも、男女別のお風呂やトレーニングルームなどの様々な設備がある。



由布市コミュニティバス「ユーバス」のシャトルバスが毎日運行しており、健康温泉館を終点に挟間、庄内地域からも利用できる運行ダイヤを設定した。毎週水曜日には、NPO法人ヘルス・フィットネス・フォーラムが「水中運動教室」を開催しており、由布市内からコミュニティバスを利用し多くの市民が温泉を活用した健康づくりに取り組んでいる。

(2) 由布市クアオルト推進協議会

温泉や自然をいかして、滞在しながら健康になれる温泉地づくりを進めるため、「クアオルト」という考え方を取り入れたプログラムを作っている。「クアオルト」とは、ドイツの言葉で、「療養地や健康保養地」という意味であり、湯布院のまちづくりを進めるなかで、ドイツへの視察旅行を行い、同地の考え方を取り入れたまちづくりを積極的に行った。現在は「由布市クアオルト推進協議会」が中心となり活動している。また全国でクアオルトに取り組む地域で「日本クアオルト協議会」を立ち上げた。



(3) 観光パンフレットを多言語で作成

由布市では、市内全域を掲載した観光パンフレットを多言語で作成している。外国語のパンフレットには、観光地でのマナーや温泉に入浴する際の注意点、マナーを記載しながら、温泉の楽しみ方を紹介している。



(4) Free wi-fi の設置

観光客の利便性向上めざし大分市、別府市との3市で利用することができるWi-Fiを由布院温泉地に8カ所整備した。

Free wi-fi にアクセスすると、由布市のポータルサイト（7か国語対応）にまず接続し、由布市のポータルサイトアプリ「ゆふぽ」をインストールして湯布院温泉郷を楽しむことができる。



(5) 由布市グリーンツーリズムの取組

本市の地産地消・特産品ブランド化推進を目的に、2011（平成23）年度から大きく農家民泊が推進された。運営組織は「由布市グリーンツーリズム研究会」で、農泊を提供する会員数は2019（平成31）年1月時点で33軒（湯布院地域7軒、庄内地域18軒、挾間地域8軒）であり、年々増加している。この取組は主に旅館・ホテルが中心の由布市観光の中で、滞在型循環型保養温泉地の新たな一分野を担うこととなった。希望する宿泊者には市内最寄りの各温泉地の利用ができる。



(6) 大分県立由布高校の観光コースとの連携

本市に立地する大分県立由布高校には、全国的にもあまり類を見ない「観光コース」を設置している。本コースの学生を対象に1泊2日の農泊体験学習を行う等、特に観光面における産学連携に取り組んでいる。今後も、由布市が目指す滞在型・循環型保養温泉地づくりにおいて、連携しながら取り組んでいく。

【各温泉別の取組】

(1) 塚原温泉：

MONO2 めぐり「塚原バルウォーク」

高原ならではの新緑の気持ちのよい毎年秋に、塚原高原の様々な食やクラフト等が楽しめるイベントを開催している。また、毎年5月にも、グルメや音楽、ワークショップなどの楽しいイベント盛りだくさんの「コモレビカフェ」も開催中。



(2) 由布院温泉：各地にある「足湯」「手湯」で気軽に温泉を楽しむ

由布院温泉の玄関口・JR 九州久大本線の由布院駅は、木造のモダンな駅舎で、大分県出身の建築家・磯崎新氏によるものである。日本でも数少ない、「改札口を設けていない駅」としても知られている。1番ホーム奥には足湯が設置され、利用料を支払えば誰でも利用できる。



(3) 由布院温泉：別府温泉と湯布院を繋ぐバスの運行

大分県の2大温泉地である別府温泉と由布院温泉地を結ぶバスが運行されている。別府駅から由布院駅前バスセンターを1時間で往復し、1日に10往復している。

(亀 の 井 バ ス 株 式 会 社)

<http://www.kamenoibus.com/guruspa/hp/yufurin/index.html>



(4) 湯平温泉：観光協会による散策マップ作成や種田山頭火ミュージアムの移設

湯平温泉では、湯平温泉観光協会による散策マップを作成し、旅館や共同浴場、店舗の紹介を行っている。湯平温泉にゆかりのある種田山頭火を記念した山頭火ミュージアム「時雨館」が2017（平成29）年6月1日に石畳通りに移転され、多くの文人に愛された湯平温泉の歴史を知ることができる場所になっている。

また年間を通じて、歴史のあるイベントやお祭りが開催されている。



(5) 庄内温泉：コミュニティバスとの連携

庄内温泉には、由布市コミュニティバス「ユーバス」が運行しており、庄内地域のコミュニティバス全路線（8路線・1路線は週に2回ずつ運行）と、シャトルバス（毎日運行、1日2往復）が運行している。公共交通機関による温泉の利用が可能となっている。



(6) 挾間温泉：はさま温泉郷議会の設立

平成30年7月、挾間温泉地にある複数の温泉施設が協力して「はさま温泉郷議会」を結成し、挾間温泉郷を目指して、幟やチラシの作製など普及に向けたさまざまな取組みを進めている。



7－3．温泉の公共的利用増進に関する今後の方策

湯布院温泉郷において、さらなる温泉の公共的利用増進を図るため、7-2 の取組内容を継続するとともに、温泉を利用した健康増進につながる取組を検討する。

2018（平成 30）年 4 月にオープンした由布院駅に隣接する由布市ツーリストインフォメーションセンター(YUFUiNFO)において、湯布院温泉郷として各温泉地をつなぐ取組を検討のうえ、湯布院温泉郷が目指す「滞在型・循環型保養温泉地」づくりを実現する。

第8章 高齢者・障がい者に配慮したまちづくりに関する方策

8-1. 公共の用に供する施設の状況

湯布院温泉郷の各温泉において、公共の用に供する施設の状況を下記に記載する。

(1) 由布院温泉

区分	種類	施設
公有施設	道路	国道：210号、県道：11号、50号、216号、617号、市道：前徳野岳本線、六所線、並柳線、白滝線、乙丸線、山崎荒木線、八山線
	日帰り入浴施設	健康温泉館クアージュゆふいん、乙丸温泉館、川西農村健康交流センター川西温泉施設、湯の坪お湯館
	観光施設	狭霧台園地
	公共交通機関	インター高速バス待合所、南由布町民休憩所（南由布駅舎）
	スポーツ・レクリエーション系施設	川西児童体育館、湯布院B＆G海洋センター、湯布院スポーツセンター、湯布院総合運動場
	公園	ゆふいんふれあい広場、岳本公園、湯布院中央児童公園
	その他公共施設	由布市役所湯布院庁舎、湯布院コミュニティセンター、湯布院健康管理センター、湯布院福祉センター、湯布院中央公民館、川西地区公民館、湯布院川上地区集会所、ゆふの丘プラザ、新町通り公衆便所、由布院ステーションふれあいホール、由布院駅前公衆便所、六所公衆トイレ、道の駅ゆふいん、YUFUINFO、湯の坪公衆トイレ
私有施設	合宿所	日本文理大学湯布院研修所、太宰府天満宮職員研修所樟風荘、FITセミナーハウス、湯布院セミナーハウス・アミティ湯布高原、湯食同源「茂魚」、ゆふいん七色の風
	介護福祉施設	住宅型有料老人ホーム TONERIKO の丘、有料老人ホーム虹色、特別養護老人ホーム 温水園、特別養護老人ホーム 白心荘、介護老人保健施設ゆふいん風香、グループホーム菜の花湯布院、すぎた福祉サービスセンター、デイサービスセンター桜の庵、デイサービスゆとり村下依、あした天気になあれ（一般社団法人）

私有施設	病院	岩男病院、日野病院、湯布院病院、足立クリニック、南由布クリニック、ゆずの木クリニック
	足湯	JR 九州由布院駅足湯、花の木通り 足湯、ゆふいんホテル秀峰館足湯、ゆふいん夢ひろばドクターフィッシュ温泉足湯、杜の湯 ゆふいん泰葉 足湯、日乃新・足湯、やわらぎの郷 やどや
	キャンプ場 (コテージ等)	ゆふいん温泉コテージ湖畔、湯布院小さな貸し別荘ラスタグラス、貸別荘湯布院ウッディハウスF、湯布ゆらら山荘、ゆふ館々、湯布の風屋、あーでん庵、由布院温泉ゆふいん貸別荘 由布岳荘
	美術館	由布院シャガール美術館、由布院ステンドグラス美術館、トリック 3D アート湯布院、アルテジオ、昭和レトロテーマパーク 湯布院昭和館－ALWAYS－、九州自動車歴史館、由布院岩下コレクション、湯布院夢美術館、ノーマン・ロックウェル湯布院美術館、湯布院二輪車博物館、末田美術館、わたくし美術館、Comico Art Museum Yufuin、由布高原美術館、由多加磯崎ギャラリー、古陶院中門コレクション、花合野美術館、ドルドーニュ美術館、マルク・シャガールゆふいん金鱗湖美術館、天日彫刻館(天日工芸彫刻館)
	飲食店、宿泊施設、立ち寄り湯	多数

(2) 湯平温泉

区分	種類	施設
公有施設	道路	国道：210 号、県道：537 号、市道：倉本山下線、温泉場幹線、扇山線、幸野畑線、小平線、下湯平中川線
	日帰り入浴施設	湯平温泉共同浴場（橋本の湯、金の湯、銀の湯、砂湯、中の湯）
	公共交通機関	湯平駅舎
	その他公共施設	湯平地区公民館、湯平ふれあいホール
私有施設	病院	秋吉医院
	美術館	山頭火ミュージアム時雨館

私有施設	飲食店	じん平食堂、カフェ・リモージュ、嬉し乃食堂
	立ち寄り湯	志美津旅館
	宿泊施設	多数

(3) 塚原温泉

区分	種類	施設
公有施設	道路	県道：616号、617号、市道：塚原2号線、中釣鶴見岳線
私有施設	スポーツ施設	乗馬クラブ クレイン湯布院
	キャンプ場 (コテージ等)	山荘どんぐり、貸別荘 風の里、恵理菜、高原の別荘 いろはにほへ陶
	美術館	湯布院創作人形館 いま、ギャラリー みみずく、ギャラリー岩田画房
	立ち寄り湯	塚原温泉 火口乃泉
	飲食店、宿泊施設	多数

(4) 庄内温泉

区分	種類	施設
公有施設	道路	国道：210号、県道：30号、52号、618号、620号、719号、市道：仁瀬小袋線、庄内駅南園線、深谷長野線、東家弓袋女線、瀬口中尾宗寿寺線、小野屋龍原線、小野屋櫟木線、大龍成合線、武宮真願寺線、柿原中学校線、岩下伊小野線
	日帰り入浴施設	庄内ほのぼの温泉館
	観光施設	城ヶ原農村公園（城ヶ原オートキャンプ場）、男池園地
	公共交通機関	庄内駅舎
	スポーツ・レクリエーション系施設	由布市庄内総合運動公園（由布市庄内総合運動公園、ふるさと伝習館、多目的広場野外ステージ（神楽殿））、由布市庄内体育センター
	その他公共施設	由布市役所庄内庁舎、庄内公民館、庄内保健センター、庄内老人福祉センター、庄内ほのぼの地域交流館、庄内ほのぼの工芸館、交流体験施設「庄内ゆうゆう館」、ほのぼのプラザ、小野屋駅トイレ、天神山駅トイレ、庄内特産品販売所「かぐらちゃや」
私有施設	スポーツ施設	ライフル射撃場

私有施設	介護福祉施設	有料老人ホームつどい、住宅型有料老人ホームシニアガーデン瑞泉、有料老人ホームゆふ、有料老人ホーム絆、特別養護老人ホーム 慶寿苑、アットホームいずみ、グループホーム花の里、デイサービスセンター花の里、グループリビング花の庄、グループリビングせいなん、特別養護老人ホーム情和園、ひだまり荘、デイサービスひだまり、有料老人ホーム由布、デイサービスセンター花の里、デイサービスセンター長宝、ひだまり荘絆、
	病院	宮崎医院、おぎきホームケアクリニック、庄内診療所、佐藤医院
	足湯	小野屋かんのん広場
	キャンプ場	一の蔵せせらぎキャンプ場

(5) 挾間温泉

区分	種類	施設
公有施設	道路	国道：210号、県道51号、202号、207号、601号、618号、690号、696号、市道：東行田代線、来鉢中畑線、向原別府線、北方中央線、梅木田口線
	公共交通機関	向之原駅舎・待合室・便所
	スポーツ・レクリエーション系施設	挾間上原グラウンド、挾間体育センター、挾間谷グラウンド、挾間B&G海洋センター
	その他公共施設	由布市役所挾間庁舎、挾間健康文化センター「はさま未来館」、挾間老人福祉センター、挾間ふれあいプラザ、ふれあい農園、陣屋市場、鬼瀬駅公衆トイレ
私有施設	スポーツ施設	はさま卓球場、スポーツクラブ HASAMA
	介護福祉施設	グループリビングさとしん、グループホームやすらぎ、グループホーム川崎、グループホーム川崎(Ⅱ)、グループリビングやすらぎ、介護老人保健施設 ケアポート川崎、特別養護老人ホーム若葉苑、住宅型有料老人ホームはさま、すけざきの郷、介護老人保健施設 健寿荘、ケアハウス豊友館
	病院	新こどもクリニック、ひろたクリニック、さとう消化器・大腸肛門クリニック、何松内科循環器科、川崎内科、ごとう医院、森本整形外科クリニック
私有施設	キャンプ場	かいがけ温泉 きのこの里、COMOREBI
	飲食店	多数

8-2. 高齢者・障がい者に配慮したまちづくりに関する取組の現状

由布市人権教育・啓発基本計画において、施策の方向性として「高齢者にやさしいまちづくり」「障がい者の社会参加の促進」の中でバリアフリー化の推進を掲げている。

【高齢者にやさしいまちづくり】

少子高齢化、核家族化の進行により「高齢者のみ世帯」や「一人暮らし高齢者世帯」が増加傾向にあり、サービスの充実や施設のバリアフリー化等の支援は今後急務の課題となっている。

また、日頃から防災・防犯に対する意識を高め、地域で声かけ等を実施していくことが安全・安心につながる。加えて、災害時の要配慮者対策も重要である。

【障がい者の社会参加の促進】

障がい者の文化活動やスポーツ活動等を通じた社会参加活動を促進するため、歩道のバリアフリー化や障がいがあっても気軽に使える移動手段など交通面の整備検討を推進する。また、引きこもりがちな障がい者が気軽に外出できる、支え合いのしくみづくりを進める。

8-3. 高齢者・障がい者に配慮したまちづくりに関する今後の方策

高齢者や障がい者などが安心して生活できるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインの啓発に努めるとともに、地域全体で支えていく体制の整備を図り、すべての人が生き生きとした人生を送ることができる共生社会の実現を目指す。

さらに、関係機関等との連携を図り、高齢者や障がい者などが、地域で自立した生活ができるよう、道路や公共施設等の生活環境の計画的な整備や、公共交通等の移動手段の確保・充実に取り組む。

日頃からいつどこで起こるかわからない自然災害に対しても、地域住民や消防・警察等の関係機関と連携して、高齢者や障がい者などの要配慮者を犯罪や災害から守るための防災対策を地域ぐるみで進めていく。

第9章 災害防止に係る計画及び措置

9-1. 温泉地の地勢及び災害の発生状況

湯布院温泉郷において、過去発生した災害は、風水害（台風、梅雨前線）、土砂災害、地震災害である。直近の自然災害を以下に記載する。

2016（平成28）年4月16日 熊本・大分地震	由布市においては、最大震度6弱を観測し、死者3名（災害弔慰金法に基づき災害が原因で死亡したものと認められた方）重傷者7名、軽傷者5名の人的被害、全壊1棟、大規模半壊1棟、半壊136棟、一部損壊2,311棟（平成29年9月1日時点）の住家被害が発生した。
2012（平成24）年7月1日 梅雨前線による土砂災害	豪雨により由布岳山腹より土石流が発生し、岳本川流域において半壊1棟、床上浸水2棟、床下浸水6棟、土砂流入9棟の住家被害が発生した。
2007（平成19）年8月2日 台風第5号	由布岳の山腹が崩壊し、湯の坪川が堰き止められ、県道に甚大な被害をもたらした。金鱗湖周辺は冠水し、合わせて半壊1棟、床上浸水110棟、床下浸水105棟、土砂流入22棟の住家被害が発生した。

9-2. 災害防止に関する取組の現状

湯布院温泉郷では、災害防止のため以下の取組みを行っている。

地域	計画又は措置	計画又は措置の概要
全域	由布市地域防災計画の策定	災害対策基本法（1961（昭和36）年法律第223号）第42条の規定に基づき、「由布市地域防災計画」を策定した。各地域に洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、山地災害危険地区、火災危険地域が指定されている。
全域	ハザードマップの整備（洪水、土砂災害、噴火）	洪水、土砂災害、噴火時のハザードマップを近隣の地域と共同で作成している。

全域	由布市ポータルサイト、由布市公式アプリによる災害情報の発信と広報	多言語で利用できる由布市ポータルサイトとアプリ「ゆふポ」において、ハザードマップの公開と、災害時における対応方法を掲載している。
全域	温泉地における災害対応マニュアルの作成	外国人旅行者を含めた観光客が利用する施設における災害時の対応マニュアルを整備した。
由布院温泉・塚原温泉	火山防災マップの作成	別府市との境にある鶴見岳、伽藍岳の噴火に備えたハザードマップを作成した。

■ハザードマップの整備

湯布院温泉郷には年間を通じて 386 万人の観光客が訪れる。そのため、災害が発生した際には観光関係者の適切な対応や誘導はもとより、観光客が自身の安全を保つための適切な行動に移ることができることも重要である。しかしながら、観光客が災害時の対応について事前に把握するほどの認識には至っていないのが実情である。そのような状況で、湯布院温泉郷では、多言語で利用できる由布市ポータルサイトとアプリ「ゆふポ」を配信し、ハザードマップを確認できるようにしている。タブレットから閲覧でき、かつ位置情報と連動するため、危険箇所や避難場所、AED 設置場所を合わせて確認できる。「ゆふポ」のダウンロードには、由布院温泉地内に 8 ケ所の Free-Wifi スポットにおいて、インターネットにアクセスした場合、まず由布市ポータルサイトに接続するように設定している。

【由布市ハザードマップ（web 版）】

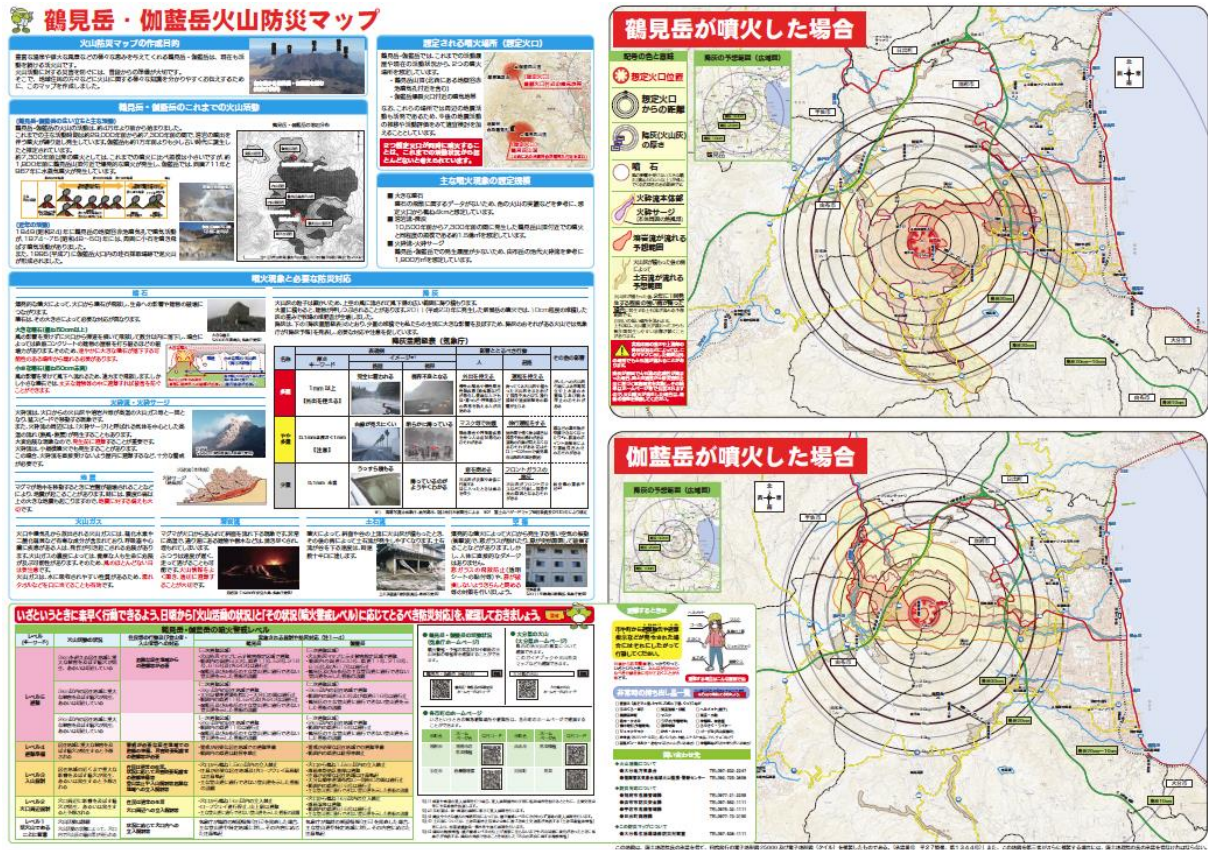


【由布市ハザードマップ（紙版）】



■火山防災マップの整備（噴火）

大分県と関係市町（別府市、由布市、宇佐市、日出町）は、地域住民や登山者・観光客の方々に火山に関する様々な知識を分かりやすくお伝えし、必要な備えに役立ててもらうため、2016（平成28）年5月に最新の火山防災マップ等を作成した。



■由布市ポータルサイト、由布市公式アプリによる災害情報の発信と広報

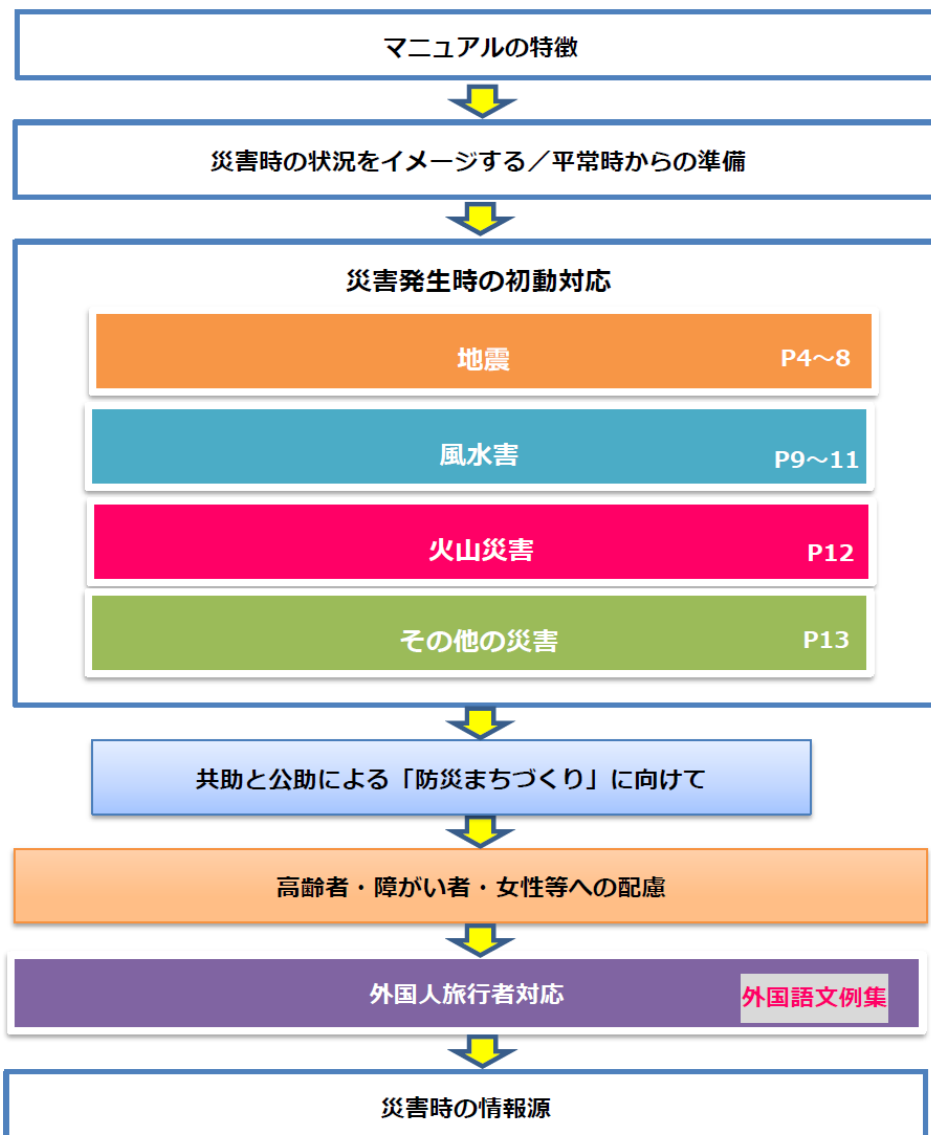
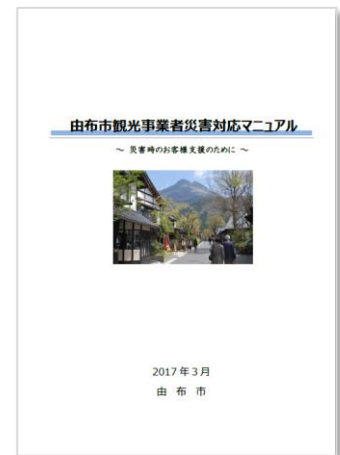
由布市ポータルサイト「ゆふポ」には、防災や災害時に活用できる以下の機能や情報が搭載されている。観光情報と防災情報は、7か国語対応しており、外国人旅行者に対して迅速な情報提供を行っている。

- ・ 防災情報の配信
- ・ 端末のGPS情報から最寄の避難所検索
- ・ ハザードマップの閲覧
- ・ 避難所、病院の情報
- ・ AED設置場所
- ・ 安否確認サービスへのリンク



■温泉地における災害対応マニュアルの作成

2016（平成28）年4月16日に熊本地震の影響とみられる最大震度6弱の地震が湯布院温泉郷で発生した。大分県において、この震度は観測史上初のことであり、発生時、各温泉地には外国人旅行者を含む多くの旅行者が宿泊をしていた。中には初めて地震を経験してパニックになった旅行者も少なかった。公共交通が麻痺したことや言葉の壁が障害となり、旅行者が次の目的地に行くこと、帰宅、帰国することに困難を極めた。このような経緯を踏まえ、将来起こりうる災害に備えるため、宿泊施設や飲食施設、観光施設、商店などの観光関連事業者が、外国人観光客を含む観光客の安全確保、避難誘導、情報提供を行う際の手引きとして、「由布市観光事業者災害対応マニュアル（2017（平成29）年3月）」を作成した。



9-3. 災害防止に関する今後の方策

湯布院温泉郷において、災害の防止を図るために、実施主体と調整の上 9-2 の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、それらに加え以下の取組を進める。

取組	実施主体
災害発生時の避難マニュアルの定期的な見直しと避難誘導訓練の実施。	各温泉地の観光協会・旅館組合 由布市
由布市公式アプリ「ゆふぽ」を活用した外国人観光客を含めた災害時への対応策の周知	各温泉地の観光協会・旅館組合 由布市